

教育等の振興に関する施策の大綱の主な施策の進捗状況等について

(その4)

基本方向 6～10

平成 30 年 6 月

基本方向 6	私立学校の振興を図る
対策 (1)	教育環境の維持・向上に向けた支援

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>本県の学校教育における私立学校の果たす役割に鑑み、学校経営の健全性を高め、教育環境の維持・向上を図るため、運営費に対する助成を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営費に対する助成（私学・大学支援課） 	<p>ア 運営費に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立学校運営費補助金（S51～） <ul style="list-style-type: none"> H28 年度補助実績 3,147,478 千円（9 法人） H29 年度補助実績 3,184,127 千円（9 法人） ・私立特別支援学校運営費補助金（S51～） <ul style="list-style-type: none"> H28 年度補助実績 57,175 千円（1 法人） H29 年度補助実績 54,713 千円（1 法人）
<p>【取組②】</p> <p>私立学校の教育力強化や教育課題の解決を図るため、特色ある学校づくりに対する助成を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校づくりに対する助成（私学・大学支援課） 	<p>ア 特色ある学校づくりに対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育力強化推進事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> 教育力強化推進事業（H22～） <ul style="list-style-type: none"> H28 年度補助実績 74,722 千円（9 法人） H29 年度交付決定 74,118 千円（9 法人） 教育改革推進事業（H11～） <ul style="list-style-type: none"> H28 年度補助実績 35,876 千円（10 法人） H29 年度補助実績 36,708 千円（10 法人）
<p>【取組③】</p> <p>学校の防災機能・安全機能の強化を図り、児童生徒が安心して教育を受けられる環境を整備するため、耐震補強や学校施設の整備に対する助成を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強や学校施設の設備に対する助成（私学・大学支援課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断の実施：1 棟〔H30〕 ・耐震補強工事の実施：2 棟〔H30〕 	<p>ア 耐震補強や学校施設の設備に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立学校耐震化促進事業費補助金（H20～） <ul style="list-style-type: none"> H28 年度補助実績 22,478 千円（2 施設 1 法人） H29 年度交付決定 7,407 千円（見込み）（1 施設 1 法人） * 国庫補助事業の上乗せ補助 ・私立学校施設耐震対策支援事業費補助金（H15～） <ul style="list-style-type: none"> H28 年度補助実績 2,616 千円（2 施設 1 法人） H29 年度交付決定 3,317 千円（見込み）（2 施設 1 法人）

**対策
の
概要**

学校経営の健全性を高め、教育環境の維持・向上を図るための支援を行うとともに、教育の国際化やキャリア教育の推進など社会の変化に応じた教育の改革や児童生徒の学力向上、教員の指導力向上、個別支援が必要な生徒への対応など学校が抱える課題を解決し教育力を強化しようとする取組を支援します。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して私立学校に対する助成を実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して私立学校に対する助成を実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して私立学校に対する助成を実施する。

基本方向 6	私立学校の振興を図る
対策 (2)	私立学校に通う児童生徒の保護者の経済的負担の軽減

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>全ての生徒が安心して教育を受けられるよう、高等学校等の授業料に充てる高等学校等就学支援金や、教科書、教材費など授業料以外の教育費に充てる高校生等奨学給付金の支給を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校等就学支援金等の支給 (私学・大学支援課) 	<p>ア 高等学校等就学支援金等の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立高等学校就学支援金 (S22～) <ul style="list-style-type: none"> H28 年度補助実績 784,460 千円 (対象者数 4,361 人) H29 年度交付実績 771,410 千円 (対象者数 4,305 人) ・私立高校生等奨学給付金 (H26～) <ul style="list-style-type: none"> H28 年度給付実績 57,322 千円 (給付者数 671 人) H29 年度給付実績 59,288 千円 (給付者数 650 人)
<p>【取組②】</p> <p>児童生徒の修学機会を確保するため、授業料の軽減措置を行う私立学校に対し助成を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業料の軽減措置を行う私立学校に対する助成 (私学・大学支援課) 	<p>ア 授業料の軽減措置を行う私立学校に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立学校授業料減免補助金 (H12～) <ul style="list-style-type: none"> H28 年度補助実績 108,854 千円 (対象者数 1,471 人) H29 年度補助実績 102,798 千円 (対象者数 1,420 人) ・私立中学校等修学支援実証事業費補助金 (H29～) <ul style="list-style-type: none"> H29 年度補助実績 41,426 千円 (対象者数 437 人)

対策
の
概要

経済的に厳しい環境の児童生徒が安心して教育を受けられるよう、経済的負担の軽減を図ります。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所得による区分によっては、制度を活用しても授業料の負担がある家庭がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して助成を実施する。
	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して助成を実施する。

基本方向 7

社会の期待に応えるため大学の魅力を高める

対策 (1)

地域活性化の核となる大学づくりの推進

対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>産学官民連携センターを核として、県内のみならず、県外からもより多くの人材や知恵を呼び込み、テーマごとのワークショップやさまざまな講座を開催するなど、産学官民の交流の機会を積極的に設けます。また、この交流の中で生まれたさまざまなアイデアを、具体的な事業プランとして磨き上げていくことを支援することで、新たな事業展開へとつなげていきます。</p> <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・連続講座の参加者数：90人 	<p>ア 産学官民連携に関する相談窓口をココプラに常設し、様々な相談に対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置(月～金、8:30～17:15) ・事業創出アドバイザーの委嘱(4名) <p>イ 県内外の企業や高等教育機関等の英知を結集し、県内でのイノベーションの創出を図るため、産学官民がともに学び合い、交流する場として、連続講座やワークショップ等を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シーズ・研究内容紹介 【計画：20回/年】 5/16,5/30 計2回開催、延べ68名参加 ・経営者トーク 【計画：10回/年】 5/18 1回開催、50名参加 ・企業訪問キャラバン 【計画：10社/年】 5/28 1社訪問 ・ビジネストrendセミナー 【計画：5回/年、6月から順次開催】 ・連続講座 【計画：5講座開催、6月から順次開催】 <p>ウ 産学官民の交流の取組等から生まれたアイデア等の事業化に向けたココプラビジネスチャレンジサポート等による支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ココプラビジネスチャレンジサポート 5件着手
<p>【取組②】</p> <p>大学の学生や教員が積極的に地域に入り、住民、NPO、県や市町村の職員などと連携することで、地域とのつながりを深め、産業振興の取組をはじめ、健康長寿県づくり、中山間地域対策、南海トラフ地震対策など、地域における課題の解決や活性化に協働で取り組む活動を積極的に推進します。</p> <p>県立大学等支援費(私学・大学支援課)</p>	<p>ア 県立大学における域学共生の取組(H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学実習Ⅰ 県内の24地域で1～3回生352名が履修登録(実習テーマ) <ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む女性らが活躍できる地域活性化策を考える(高知市) ・高知県で唯一の離島(鶴来島と沖の島)で活動した「保健婦(現保健師)」の足跡を訪ね地域課題を学ぶ(宿毛市) ・どうしたら中山間地域で健康に暮らせるかを考える(橋原町) ・地域学実習Ⅱ 県内の各地域で2～4回生412名が履修登録(実習テーマ) <ul style="list-style-type: none"> ・地域で行っている味噌づくりを地域の若者が継承できるようにし、味噌の美味しさを地域全体に普及させる(佐川町) ・保育団体と地域住民とのかかわりから、子供が秘めた地域活性力について探る(広島市・高知市) ・高須・葛島地区地震、津波に関する取り組み～自主防災組織や自治体の取り組みについての調査～(高知市) ・域学共生実習 下記2つのテーマで4回生7名が履修登録(実習テーマ) <ul style="list-style-type: none"> ・鶴来島が抱えている地域課題の調査と情報提供(宿毛市) ・県大立志塾の企画運営(高知市) ・立志社中 平成30年度の「立志社中」プロジェクトに採択された7チーム、のべ294人の学生が県内地域で地域活動に参画

対策
の
概要

地方では、産業集積が進んでいる都市部と異なり、自社で技術的な研究を進める大手企業が少なく、新たな技術開発等を行っていくためには、大学が有する研究開発力を活用するなど、知の集積が極めて重要です。このため、産学官民連携センターを核として、県内外の産学官民の交流と連携を更に深め、イノベーションの創出を図ります。また、地域のニーズに応える人材育成を行うとともに、大学における「地(知)の拠点」機能の充実・強化を図り、産業の振興や地域課題の解決に、地域住民、NPO、県や市町村などと連携・協働して取り組む活動を積極的に推進します。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【KPI の状況】</p> <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 産学官民の交流と連携の更なる促進のため、各セミナーや講座への参加者を確保することが肝要。 セミナーや講座等において出てきたビジネスアイデアやプランを、ココプラビジネスチャレンジサポート等を活用して、事業化に向けた支援を継続的に行っていくことが重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、SNS、メルマガでの情報発信のほか、関係機関等への呼びかけ等、積極的な広報活動を継続的に行う。 サポートが必要な案件についてはココプラビジネスチャレンジサポートの活用や関係機関へ繋ぐこと等により、事業化に向けた支援を実施。
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全学挙げて域学共生に取り組んでおり、地域に入り、地域の方々と協働で取組む活動を積極的に推進している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度末に地域共生推進士の第1号が誕生予定のため、認定までの手続きや卒業後のネットワークづくりについて検討し実行する。 立志社中の活動について、学内外の認知度向上のため、HP等の広報を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 県立大学では平成27年度から域学共生の取組をスタートしており、引き続き、地域の課題解決や活性化に向けて、県や市町村をはじめとする関係機関との連携強化を図りながら、学生と教員が地域に入り、地域とのつながりを深める活動を一層推進していく。

基本方向 7

社会の期待に応えるため大学の魅力を高める

対策 (2)

「学び続ける」社会の実現に向けた学び直しの機能の強化

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組

D これまでの取組状況

【取組①】

「夜間主コース」の設置や社会人入試制度の導入により、働きながら学べる機能を拡充するとともに、公開講座や県民開放授業の開催、履修証明プログラム、科目等履修制度の充実によって、社会人のニーズに応じた多様な学習プログラムを提供するなど、大学における生涯学習、社会人教育の機能の更なる充実・強化を図ります。

県立大学等支援費（私学・大学支援課）

・高知県立大学文化学部夜間主コースの入学者の状況

H30年度	定員	入学者数
推薦	10人	4人
社会人	20人	27人
3年時編入	3人	2人
合計	33人	33人

・公開講座等の開催状況（H30）

高知県立大学： 423人（受講者延べ人数）
高知工科大学： 0人

【取組②】

産学官民連携センターにおいて、ビジネスの基礎から応用・実践力まで、受講者のニーズやレベルに応じて体系的に身に付けられる産学官民連携によるビジネス研修「土佐まるごとビジネスアカデミー（土佐MBA）」の充実・強化を図ります。

<取組のKPI>

H30 受講者数（延べ）3,000人

ア 体験講座や気軽に相談できる場を設ける「おためしMBA」の開催

- ・4/23 高知市（入門講座体験、商人塾体験、経営塾体験）
- ・4/24 四万十市（入門講座体験・MBAカフェ）
- ・4/26 安芸市（入門講座体験・MBAカフェ）

イ 本科・実科の各講座の募集開始（4月～）

ウ 各講座の開講

- ・経営戦略コース（5/25～7/21（予定））

<H30バージョンアップのポイント>

●情報発信の強化・学びを体験できる機会の提供

- ・おためしMBAを開催する。
- ・企業等への個別訪問、関係機関と連携したPRを強化する。

●ニーズに対応したカリキュラムへの再編

- ・入門講座を初心者にも興味を持っていただきやすい内容に統一する。
- ・演習や自社ビジネスに落とし込んで考える部分を強化する。
- ・事業戦略策定済企業のニーズに応じた講座の受講を推奨する。

●地域で学ぶ場づくり

- ・インターネットを活用して受講できる「サテライトプラットフォーム」「ネット受講」の仕組みを継続するとともに、企業へのPRを強化する。
- ・「目指せ！弥太郎商人塾」の短期集中セミナーを、幅多地域で試行的に開催する。

【参考】受講者数 H28実績(延べ)3,006人

H29実績(延べ)4,313人

2 第2期高知県教育振興基本計画における指標の状況

対策
の
概要

誰もが学び続け、夢や志に挑戦できる社会の実現に向け、大学における学び直しの機能を拡充し、社会人の学びを支援します。また、地域や産業を支える人づくりに向け、起業を目指す人材養成のためのビジネス研修をはじめ、社会人や企業のニーズに応じた実践的・専門的な教育プログラムの充実・強化を図ります。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間主コースに多くの社会人学生が入学しており、働きながら学べる場として機能している。 ・公開講座や履修証明プログラム、リカレント講座等を活発に開催することで、生涯学習、社会人教育の機能が強化されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き広報活動を積極的に行い、認知度を上げていく。
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/25「経営戦略入門」受講者 125 人（ネット受講含む） <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入門講座の内容統一による効果については、受講者アンケートの集計及び今後の他コース入門講座の実施を待たなければならないが、初回 5/25 はおおむね好評のうちに終了した。 ・おためし MBA については、今まで土佐 MBA を受講したことのない方に多く受講していただき、実際の講座申込につながるなど、新たな受講者の掘り起こしにつながった。 ・地域で学ぶ場づくりとして初めて実施する「商人塾短期集中セミナー in 幡多」は順調に受講申込をいただいております、ニーズの高さが再確認できた。 <p><今年度事業実施にあたっての課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ●十分かつ確かな情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・企業内の人材育成ニーズが相当程度存在しているにもかかわらず、必要な情報が必要な方に届いていない可能性がある。 ・講座の内容が、実際以上にハードルが高く感じられている傾向にある。 ●受講者ニーズの反映 <ul style="list-style-type: none"> ・受講の入り口となる本科/入門講座の内容をより身近なものに感じていただく必要がある。 ・学びを実際のビジネスへ活用する方法を知りたいとの意見が寄せられている。 ・事業戦略策定済企業の多くが、人材育成を課題として認識している。 ●学ぶ機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・受講したくても教室まで来ることが難しい方が、インターネットを活用して受講する方法について、まだ十分知られていない可能性がある。 ・一方、ネットを介さず、講師や他の受講者と議論しながら学ぶ商品開発等の実科の講座を地域で開催してほしいという根強い要望もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報発信の強化・学びを体験できる機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○おためし MBA の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・7/22、23 エグゼクティブコース体験 ・8/30 入門講座体験 ○企業等訪問や関係機関と連携した PR を強化 ●講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略コース (5/25~7/21) ・マーケティング・商品開発コース (6/7~7/10) ・会計コース (6/6~8/20) ・財務戦略コース (7/3~8/8) ・情報ビジネスコース (9/7~10/27) ・組織・人的資源マネジメントコース (9/6~11/16) ・事業管理コース (10/12~11/7) ・スキルアップセミナー (7/18~9/25) ・ビジネストレンドセミナー (6/13~2月) ・エグゼクティブコース (9/27~2/14) ・土佐経営塾(9/16~11/25) ・目指せ！弥太郎商人塾 (7/25~3/8) ・商人塾短期集中セミナー in 幡多 (6/28~10/25) ・社内起業家（イントラプレナー）育成支援講座 (6月~9月) ・新事業創出講座(10月~2月)

基本方向 7	社会の期待に応えるため大学の魅力を高める
対策 (3)	若者の県内定着の促進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
-----------------------	--------------------

【取組①】
 県内高校生の進学先の拡充を目的とする高知県立大学文化学部^{※1}の拡充や、高知工科大学経済・マネジメント学群^{※2}の設置を機に、県内大学への地元出身入学者を更に増やすとともに、県外からの学生も呼び込むことを目指します。このため、高等学校との連携を一層強化するとともに、大学のオープンキャンパスや出前講座等の広報により県内大学の先進的な教育活動等を積極的に発信します。

※1 高知県立大学文化学部の入学定員
 【(～H26) 80人 → (H27～) 150人】

※2 高知工科大学経済・マネジメント学群の入学定員 (H26 まではマネジメント学部)
 【(～H26) 100人 → (H27～) 160人】

<具体的な事業>
 県立大学等支援費 (私学・大学支援課)

・高知県立大学文化学部 (夜間主コースを除く) 及び高知工科大学経済・マネジメント学群の入学者の状況

H30 年度	定員	入学者数
県立大文化学部 (夜間主コース除く)	120 人	134 人 (52 人)
工科大経済・マネジメント学群	160 人	186 人 (79 人)
合 計	280 人	320 人 (131 人)

※ () 内は、県内出身者数

【取組②】
 県内大学卒業生の県内就職を促進するため、県内企業に限定した就職セミナーの開催や県内企業に関する就職情報の発信等を行うとともに、高知大学、高知県立大学、高知工科大学、高知学園短期大学及び高知工業高等専門学校の県内 5 つの高等教育機関と、産業界、県等が連携・協働し、地域の雇用創出や大学生等の地元就職率の向上に取り組めます。

<具体的な事業>
 県立大学等支援費 (私学・大学支援課)

・高知県立大学及び高知工科大学は、県内企業に限定した就職セミナーを実施している。

<開催実績 (H30) >
 高知工科大 3 回 (参加延べ人数 6 人)
 高知県立大 0 回

(参考: H29 実績)
 ※高知県立大学では県内の企業を直接訪問し、その企業に関するだけでなく、仕事に対する意識向上を目的としたバスツアーの実施 (計 2 回、のべ 18 名参加)、業界研究の一環として高知県内の食品流通・スーパーマーケット業界研究の場として業界研究フィールドワーク (5 名参加) を実施した。

※高知工科大学では、通年 (3 月以降) 受け付ける形式の個別会社説明会において、県内企業 12 社に 28 名が参加した。また、12 月には県内製造業有志 (6 社) による業会研究会を香美キャンパスで開催し、17 名が参加した。1 月開催の学内合同業界研究セミナーでは香美・永国寺 両キャンパスで 92 社 136 名が参加した。

※新規の取り組みとして、県立大・工科大共催で、県内での勤務が見込まれる 9 団体による合同形式の「公務員教務セミナー」を開催し、42 名 (県立大 28 名、工科大 14 名) が参加した。

<県内高等教育機関の地元就職率>

	H29	H28
高知大	25.8%	29.3%
高知県立大	33.3%	39.6%
高知工科大	15.7%	19.8%
高知学園短大	71.1%	86.1%
高知高専	18.9%	10.0%

**対策
の
概要**

若者の県外流出を防止し、地域活性化の中心となる「ひと」の地方への集積を図るため、県内高校から県内大学への進学者を増やすとともに、県内大学卒業生の県内就職を促進します。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 両学部（学群）とも、平成 27 年度の定員増とともに、県内高校からの入学者が増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、県内高校との連携を強化するなど、県内高校からの進学者増加に取り組む。
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業に限定した就職セミナーを着実に実施している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内志向の学生には県内企業限定のセミナーは効果があるが、県外志向（県内との併願者含む）の学生を惹きつけるための効果的な情報発信等の対策が課題である。 ・ 売り手市場という状況もあり、より好待遇である県外企業等を選択する学生が多くなる傾向が出てきているので、こうした面に対する検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も県内企業に限定した就職セミナーを開催し、学生に向けて、県内企業に関する就職状況等を積極的に発信していくと同時に、県内 5 つの高等教育機関と、産業界、県等が連携・協働して地域の雇用創出や大学生等の地元就職率の向上に取り組んでいく。

基本方向 8	生涯にわたって学び続ける環境をつくる
対策 (1)	生涯学習の推進体制の再構築

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>社会教育関係者の専門的な資質・能力の向上を目指した研修を充実させるとともに、社会教育の指導的立場にある社会教育主事の養成を推進し、地域の学びを支える人材の育成を図ります。また、PTAをはじめとする社会教育関係団体の活動を支援するとともに、社会教育関係団体が多様な実践事例に学ぶ機会として交流会を開催することなどにより、関係者の輪を広げます。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育推進人材育成事業（生涯学習課） ・社会教育活動活性化支援事業（生涯学習課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村社会教育担当者研修会各回の参加者数： <ul style="list-style-type: none"> 第 1 回（6 月）40 名以上 第 2 回（9 月）50 名以上 第 3 回（2 月）40 名以上 （計 延べ 130 名以上） ・社会教育実践交流会の参加者数：270 名以上 	<p>ア 社会教育関係者の専門的な資質・能力向上のための研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村社会教育担当者の研修会の開催【計画：延べ参加者数 130 人以上】 <ul style="list-style-type: none"> 第 1 回研修会案内周知 第 3 回研修会日程調整 <p>イ 社会教育主事の養成の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四国地区大学社会教育主事講習への派遣 <ul style="list-style-type: none"> 派遣者の検討（本課より社会教育主事 1 名、教育事務所より 1 名内定） <p>ウ PTAをはじめとする社会教育関係団体の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会、研究大会の企画等に対する助言・指導及び事務支援 <ul style="list-style-type: none"> 保幼小中高 PTA 連合体連絡協議会開催 中国・四国地区公民館連絡協議会定期会出席 <p>エ 社会教育関係団体が実践事例に学ぶ交流会の開催による関係者の輪の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育実践交流会実行委員会の開催【計画：参加者数 270 名以上】 <ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体の推薦による実行委員の選出 実行委員就任の確認と第 1 回実行委員会の日程調整 第 1 次案内チラシ関係各所に送付・持参（300 枚）
<p>【取組②】</p> <p>県民の多様な生涯学習ニーズに対し、県民の学びを次の学びへとつなげていくため、生涯学習機関のネットワーク化を図ることにより、各市町村が行う生涯学習講座の総合的な情報提供などを行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習課活性化推進事業（生涯学習課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習支援センターへの相談件数：150 件 	<p>ア 生涯学習機関のネットワーク化による各市町村が行う生涯学習講座の総合的な情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人高知県生涯学習支援センターに、生涯学習に関する各種講座の情報提供や相談業務、視聴覚ライブラリーの管理等を委託し実施する。 ・市町村における生涯学習に関する各種講座等の実施予定調査（4 月） ・体験活動ホームページの更新（6 月） ・NPO 法人高知県生涯学習支援センター永国寺ビル移転（6 月） ・一元的に生涯学習の情報を提供できるシステムの構築のためワーキング・グループの設置（6 月）

2 第 2 期高知県教育振興基本計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
県・市町村教育委員会及び公民館（類似施設含む）における社会教育学級・講座数（教育委員会所管分）	5,054		5,000 以上

対策
の
概要

現に社会教育を担っている関係者の持てる力を十分に生かしていただけるよう努めるとともに、これまで必ずしも社会教育に携わってこなかった人材の掘り起こしも図ることにより、生涯学習の推進体制を再構築していきます。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村社会教育担当者研修会の各回参加者 ※6月、9月、2月にそれぞれ確定 ・社会教育実践交流会の参加者 ※1月に確定 <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村社会教育担当者が研修会や講習を通じ、社会教育の基礎知識を習得するとともに、各地域で社会教育を活性化していく推進力を継続的に身に付けることが必要である。 ・活動の活性化に向けて、各団体が自らの強みや課題を共有し、より良い活動につなげていくための交流の機会づくりを更に進めていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育主事等研修の内容を充実し、担当者の参加を促進するとともに、県内担当者のネットワークを構築する。 ・社会教育実践交流会を、社会教育関係団体の代表者による実行委員会が企画・運営を主体的に担う方式で実施。
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習支援センターへの相談件数：25件（5月末現在） <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人高知県生涯学習支援センターのホームページを改良したことで、利用者が必要な情報を得やすくなった。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民の様々なニーズに対応し、民間も含めた多様な生涯学習の情報を一元的に提供する仕組みを整える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村等が行う生涯学習講座のほか、県や様々な民間団体が開催するため講座の情報を集約し、一元的に発信する仕組みを構築するため、ワーキング・グループによる検討を進める。

基本方向 8

生涯にわたって学び続ける環境をつくる

対策 (2)

新図書館等複合施設を核とした県民の読書環境・情報環境の充実

7 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>県民の知的ニーズに応えとともに、課題解決を支援するための図書館機能の充実に向け、研修等の充実による司書の専門性の向上や専門機関との関係づくりなどに取り組めます。また、データベースや電子書籍の提供など新図書館で行うサービスを開館前から実施します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館活動事業（県立図書館） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レファレンス件数：延べ 20,000 件 	<p>ア 研修等の充実による司書の専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権に関する研修 ・データベース操作研修 <p>イ 課題解決支援機能の充実に向けた専門機関や行政機関との関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ専門職員による専門機関（ココプラ、こうち企業支援センター、高知県産業振興センター等）訪問、来訪、電話・メールでの打ち合わせ（34 件、5 月末現在） <p>ウ 資料の充実及びデータベースや電子書籍による情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般図書 3,729 冊、雑誌等 619 タイトル（5 月 28 日現在収集状況 ※寄贈は除く） ・データベースの整備：23 種類（高知新聞データベース、日経テレコン、官報情報検索サービス等）（延べ利用件数：156 件 <5 月 29 日現在>） ・電子書籍の導入（H29/10/18） <ul style="list-style-type: none"> 平成 30 年度登録者数 23 名（累計 732 名）<5/28 現在> 延べ閲覧回数 400 回（累計 5,663 回）<4 月末現在> 延べ貸出数 121 回（累計 1,984 回）<4 月末現在>
<p>【取組②】</p> <p>ホームページ等を活用した情報発信や出前図書館等を通じて県立図書館の提供するサービスの周知を図ります。また、市町村立図書館等への協力貸出や市町村職員を対象とした研修を実施することなどにより、市町村立図書館等に対する支援を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館活動事業（県立図書館） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村立図書館等への年間総協力貸出冊数：32,000 冊以上 	<p>ア 市町村立図書館等への協力貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休館対応として、長期貸出を実施中 <ul style="list-style-type: none"> 利用団体数：31 館（21 市町村 2 大学） 貸出冊数：15,832 冊 ・市町村立図書館における企画展示実施のための資料の収集・貸出（試行中） <ul style="list-style-type: none"> 貸出冊数：1,120 冊 <p>イ 市町村立図書館等の業務への助言・サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村巡回訪問 <ul style="list-style-type: none"> 訪問実績（5/28 現在）：6 市町村（7 館） ・業務支援 <ul style="list-style-type: none"> 橋原町立図書館オープン支援のための職員派遣（5/27～5/28） <p>ウ 市町村職員等を対象とした研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービス基礎研修：総合編 4/26（参加者数：35 名） <p>エ ホームページ等を通じたオーテピア高知図書館提供サービスの周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「夢のかけ橋（58 号）」 ・プレサイトの活用 ・リーフレット等の配布 ・ラジオ収録（HISIX/放送は 7 月の予定） ・利用案内パンフレット、ポスター、チラシ、ホームページ制作中 ・高知家プロモーションホームページ サイト掲載記事の取材等 ・図書館見学（館内ツアー）の内容について検討 ・各種団体等が実施する会議等への講師派遣等（オーテピア高知図書館の P R）

対策の概要

「オーテピア高知図書館サービス計画」に基づき、図書の出し等に加えて、関係機関と連携・協働しながら、課題解決支援サービスをはじめ、様々なサービスを実施していきます。
 また、県内の図書館の利用拡大に向け、遠方からでも市町村立図書館等を通じて県立図書館の本を利用できることや、一般的には購入が難しい高額な専門図書やデータベースが利用できることなど、県立図書館が実施しているサービスについて周知を図ります。併せて、県民がそれぞれの地域で、読書をし、役立つ情報が得られる環境を整えていくため、市町村立図書館等の充実・強化に向けた支援を行います。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> レファレンス件数 ※オーテピア高知図書館 7月24日開館のため実績なし <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> レファレンス対応などの質の高いサービスを提供するため、司書の専門性向上につながる研修が必要である。 レファレンス・サービス等の図書館サービス周知が必要 課題解決支援に携わる専門機関や行政機関と連携・協力しながらサービスを提供するため、情報の共有や関係の強化を図っていくことが必要である。 地域や住民の自立的な判断に役立つ多様な資料の収集と情報の提供。 	<p>ア 研修等の充実による司書の専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> レファレンス研修 (7月実施予定) 短期お話の講習会 (7/12、9/13 東京 1名参加) <p>イ 課題解決支援機能の充実に向けた専門機関や行政機関との関係づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門機関、行政機関とのイベントやセミナー・相談会等の共同実施 関係機関へのサービスの周知 <p>ウ 資料の充実及びデータベースや電子書籍による情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料の充実と必要な情報にアクセスしやすい環境 (ブックリストやパスファインダー) の整備 データベースの紹介チラシの作成検討
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村立図書館等への年間総協力貸出冊数 ※県立図書館は休館中のため実績なし <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> オーテピア高知図書館が提供する様々なサービス (市町村立図書館を通じた資料の貸出や、レファレンス・サービス、団体貸出、リクエストなど) を有効に使ってもらうための周知と、市町村立図書館等の提供するサービスの強化が必要である。 	<p>ア 市町村立図書館等への協力貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題解決に関する資料のセット貸し 市町村立図書館における企画展示実施のための資料の収集・貸出 (試行中) <p>イ 市町村立図書館等の業務への助言・サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村立図書館等においても課題解決型サービスが行えるよう支援 ※レファレンスへの協力、企画展示等へのサポート 市町村立図書館等が行う出前図書館のサポートなど、図書館の活用に向けた支援の実施 巡回訪問等による図書館の充実に向けた、情報提供や働きかけを実施 <p>ウ 市町村職員等を対象とした研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館活用講座やデータベース講習会の開催 市町村立図書館等のサービス充実に向けた、市町村職員等の研修 <p>エ ホームページ等を通じたオーテピア高知図書館提供サービスの周知</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な広報媒体の活用や様々な機会を活用した情報発信により、幅広い層に図書館サービスを周知 ※市町村立図書館等向けのブログを新設 各種団体等が実施する会議等への講師派遣 連携機関の広報ツールの活用 メールマガジンの配信 (月1回) 周辺公共施設と連携した広報

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組③】</p> <p>「高知県子ども読書活動推進計画」及び「図書館振興計画」の策定を通じて、子どもたちの読書習慣の定着や、県民全体の読書環境・情報環境等の一層の充実・活性化を図るための総合的な施策を検討し、推進していきます。</p> <p>また、子どもに小さい頃から読書に親しむ習慣を身に付けてもらうため、乳幼児期から本に触れる機会の提供や、読書の魅力を発信する読書ボランティアの養成などを行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進事業（生涯学習課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書ボランティア養成講座参加者数 <ul style="list-style-type: none"> 地区別講座： 80名 全県講座： 100名 出張講座： 30名 	<p>ア 高知県子ども読書活動推進計画における施策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次高知県子ども読書活動推進委員会による施策の推進の検討【年2回予定】 ・子ども司書養成講座実施予定市町村（香美市、須崎市、中土佐町、四万十町、四万十市、津野町、いの町、日高村） <p>イ 図書館振興計画の策定及び周知、啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回検討委員会実施（5/10） ・第6回検討委員会（6/12） ・パブリックコメントの実施（5月12日～6月11日）・7月上旬策定 ・市町村訪問による周知、啓発（訪問市町村数：22市町村（5月末現在）） <p>ウ 乳幼児期から本に触れる機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート応援事業 推薦図書リスト「絵本 おはなし・宝箱」作成 <p>エ 読書ボランティアの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書ボランティア養成講座実施委託業務 業務計画の作成依頼（5/24） ・読書ボランティア養成講座実施委託業務契約（7月下旬）

2 第2期高知県教育振興基本計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
県民一人当たりの図書貸出冊数	4.0冊 ※H28年度		4.2冊以上

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書ボランティア養成講座参加者数 ※随時集計予定 <p>〈成果〉</p> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館振興計画の周知を図るとともに、計画に定める取組を着実に進める必要がある。 読書環境の厳しい地域において読書活動の推進を図るため読書活動を推進する人材を育成する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書ボランティア養成講座の開催により、地域で読書活動の推進を担う人材を育成する。 作成した読書ボランティア登録簿の周知により、学校支援地域本部、子ども教室、児童クラブ等において人材の活用促進を図る。 図書館振興計画に基づき、市町村教育長等を訪問し、市町村立図書館の客観的な状況の提示を行った上で、個々の図書館の目指す姿について検討を深める。

	H29	H30	H31 目標値
市町村への協力貸出冊数	41,391 冊 ※H30.2月時点		32,000 冊以上

基本方向 8

生涯にわたって学び続ける環境をつくる。

対策 (3)

子どもも大人も学び合う地域づくり

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組

【取組①】

学校支援地域本部や放課後子ども教室に多くの地域住民が参画し、学習活動への支援にとどまらず、子どもたちの地域行事や清掃活動への参加などさまざまな体験活動を支援するなどの取組を充実させることにより、地域住民と子どもたちとの交流を深め、地域コミュニティの活性化につなげます。このような取組を進める上で地域において中核的な役割を担う地域コーディネーターの育成・確保を図ります。

<具体的な事業>

- ・学校支援地域本部等事業 (生涯学習課)
- ・放課後子ども総合プラン推進事業 (生涯学習課)

<取組の KPI>

- ・学校支援地域本部における年間活動予定回数の設定：21,800 回以上 (H30) (100 日×小中 218 校)

【取組②】

より多く、より幅広い層の地域住民や団体等により主体的に学校における子どもたちの育ちに関わっていただくため、定期的に地域住民等と学校とが話し合う場を学校区ごとに設置し、地域の方々により深く子どもたちの現状を知っていただくとともに、地域の声を学校の活動に反映させる形をつくることで、「学校支援地域本部」の活動を、地域と学校がパートナーとして子どもたちを見守り育てる「地域学校協働本部」の活動へと展開していきます。

<具体的な事業>

- ・学校支援地域本部等事業 (生涯学習課)

<取組の KPI>

- ・高知県版地域学校協働本部の 3 要件を満たした高知県版地域学校協働本部 (市町村推進校) の数：28 校以上

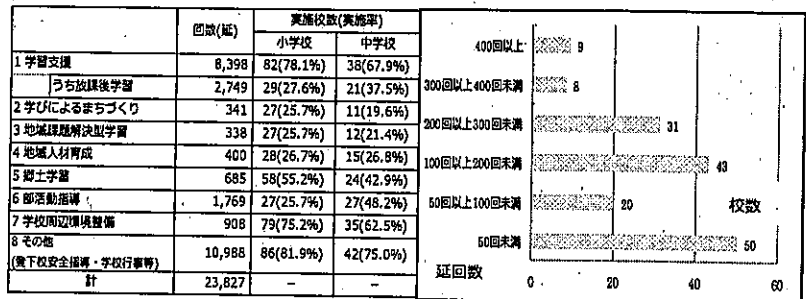
D これまでの取組状況

ア 学校支援地域本部・放課後子ども教室における多くの地域住民が参画する多様な体験活動への支援の充実

- ・「高知県版地域学校協働本部モデル事例集」を全ての小中学校・義務教育学校、市町村の教育委員会、福祉担当部署、社会福祉協議会へ配布し啓発 (3~4 月)
- ・コレックを中心とした学び場人材バンク登録者の発掘と利用案内
学び場人材バンク登録数 (5 月末現在合計)：411 名 (H30.3 月末現在：406 名)
マッチング数 (5 月末)：延べ 7 名 (H29 年間マッチング数：334 名)
学校訪問等回数 (5 月末)：113 回 (H29 年間訪問回数：669 回)

<年間活動回数 (活動種類別・頻度別) (H29 国補助金実績報告より) >

(H30.5 月末現在)



イ 地域コーディネーターの育成・確保

- ・「高知県版地域学校協働本部モデル事例集」を全ての小中学校・義務教育学校、市町村の教育委員会、福祉担当部署、社会福祉協議会へ配布し啓発 (3~4 月)
- ・地域コーディネーター研修会 (1 地域、6 月予定)

ア 学校支援地域本部の活動を「地域学校協働本部」の活動へと展開する取組
・高知県版地域学校協働本部 (市町村推進校) における取組

(参考) 高知県版「地域学校協働本部」の要件

- ①充実した学校支援活動の実施
(4 種類以上の学校支援活動を、年間計 100 日以上実施)
- ②学校と地域との定期的な協議の場の確保
(年度初め及び学期末など、年間概ね 4 回以上の開催)
- ③民生・児童委員の参画による見守り体制の強化
(学校との個別の情報交換会等を、概ね月 1 回程度開催)

- ・学校地域連携推進担当指導主事 (教育事務所、高知市教委) による支援訪問活動により学校への助言・関係者への協力要請等を実施 (再掲)
訪問等回数 (5 月末現在)：92 回

(東部 28 回、中部 26 回、西部 16 回、高知市 22 回)

うち、高知県版地域学校協働本部 (市町村推進校) の取組支援：54 回

(東部 21 回、中部 18 回、西部 13 回、高知市 2 回)

- ・市町村・関係機関等との協議・協力要請、個別訪問等による啓発 (生涯学習課・児童家庭課)

市町村教育長会議、地区別校長会、県民生委員児童委員協議会連合会総会、市町村教育長訪問等 訪問等回数：4 月 20 回、5 月 20 回

- ・高知県版地域学校協働本部 (市町村推進校) の設定をした市町村 (5 月末現在)：23 市町村 37 校

対策
の
概要

地域全体で子どもを見守り育てる体制をつくることにより、子どもも大人も学び合う地域づくりを進めます。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校支援地域本部における年間活動予定回数設定 ※6月調査予定 <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な体験活動が行われ、また、年間活動日数についても100日(100回)以上取り組んでいる学校・地域が半数を超える一方、50回未満のところも多くあり、取組状況には差がある。また、学校が地域から支援を受けるだけでなく、パートナーとして地域と協働する取組への意識転換を図っていく必要がある。 地域コーディネーター人材の確保や育成が必要である。 	<p>○学校支援地域本部や子ども教室の設置校、高知県版地域学校協働本部(市町村推進校)の未設定市町村、設定済市町村それぞれに対し、個別支援を行い、活動内容の充実及び学校支援から連携・協働に向けて、取組の深化を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全ての小中学校・義務教育学校を訪問し設置や活動内容の充実に向けての助言・支援を行う(～8月)。 次年度計画作成への助言・支援を行う(～3月)。 高知県版地域学校協働本部(市町村推進校)の見守り体制の仕組みの協議や学校と地域との協議の場の設置、見守り体制の開始等の支援を行う(～9月)。 取組状況の中間確認・整理・検証作業を行う(～12月)。 各市町村におけるH31年度からの設置計画の作成を支援する(～1月)。 各市町村の設置計画をもとに、県全体の設置計画を検討・作成する(2月)。 活動に参画する学校や地域の方を対象とした研修会を実施する。 高知県地域学校協働活動研修会(全体会7月、ブロック別3地域10～1月) 地域コーディネーター研修会(2地域、8月、9月) PTA・教育行政研修会(3地区)(7～9月)
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県版地域学校協働本部の3要件を満たした高知県版地域学校協働本部(市町村推進校)の数 ※11～12月中間検証予定 <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村推進校の未設定市町村(9市町村)への設定に向けた個別支援が必要である。 高知県版地域学校協働本部(市町村推進校)の設定済市町村(23市町村)における推進校への学校と地域の協議の場の設置や見守り体制の構築に向けた個別支援が必要である。 県内全域への普及に向けた取組を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村教育長訪問による設置要請(随時) 学校地域連携推進担当指導主事等による進捗管理 7～9月 市町村虐待対応部署、社会福祉協議会、民生児童委員、地域ボランティアによる見守りの仕組みづくり 9月 見守り活動開始 10～12月 見守り状況の把握、個別課題への助言・指導 H31年度からの設置計画の策定 12～1月 市町村推進校の取組経験をもとに市町村ごとにH31からの設置計画策定 2月 各市町村の設置計画をもとに県全体の設置計画策定 取組状況調査(9月)、集計(10月)、効果・課題の検証(10～11月)、全市町村教委訪問(11月)、地域学校協働活動推進委員会での報告・協議等(10月、2月)

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組③】</p> <p>県立青少年教育施設等において、子どもも大人も参加できる魅力的な体験プログラムを実施します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年教育施設振興事業（生涯学習課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年教育施設の小・中・高校生の延べ利用者数：146,670人 	<p>ア 中1学級づくり合宿※の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校数（5月末）：青少年センター 12校 幅多青少年の家 15校 <p>※中学校と連携して、課題に合わせたプログラム構成を運用し、入学後の集団宿泊訓練を通して、規範意識や生活・学習習慣の定着とともに、円滑な学級づくりや仲間づくりを支援</p> <p>イ 積極的な広報の実施（青少年センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設のパンフレットの配布によるPR 高知県教育支援センター連絡協議会で不登校対策事業のPR <p>（幅多青少年の家）</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅多地区6市町村教育委員会訪問によるPR 幅多地域小・中学校等に年間カレンダー配布（小学校 40校 中学校 21校 6市町村教育委員会） 四国内大学サークル・スポーツ少年団等への利用案内送付 SNS（フェイスブック）による施設の情報発信 <p>（香北青少年の家）</p> <ul style="list-style-type: none"> 香美・香南・高知市の幼稚園及び保育所訪問によるPR 県内大学・専門学校・高等学校チラシ配布によるPR <p>（高知青少年の家）</p> <ul style="list-style-type: none"> いの町・土佐市内小学校訪問によるPR 日高村・高知市内小学校に主催事業要項配布 高知新聞に主催事業要項のPR いの町内小学校のコミュニティスクール担当者に事業PR
<p>【取組④】</p> <p>小・中学校等における、長期間の集団での宿泊活動を通して、さまざまな自然体験や社会体験を行う取組を支援します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期宿泊体験活動推進事業（生涯学習課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期宿泊体験活動実施校：24校 ・実施校対象アンケートにおける肯定的評価：100% 	<p>ア 小・中学校等での長期間の集団宿泊活動を通じた自然体験・社会体験の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期宿泊体験活動を行う学校への支援 <p>仁淀川町・津野町・土佐市の実施校へ目的の説明と現地視察（5月）</p> <p>H30 長期宿泊体験活動実施予定校：19校</p> <p>四万十市立八東中学校・大用中学校・麻岡中学校、土佐清水市立下川口小学校・三崎小学校・足摺岬小学校・清水小学校、宿毛市立松田川小学校・橋上小学校、津野町立葉山小学校・精華小学校・中央小学校・葉山中学校、香美市立片地小学校、土佐市立土佐南中学校、仁淀川町立仁淀中学校・池川中学校、本山町立本山小学校・吉野小学校</p> <p>※H28：6校、H29：13校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村教育委員会の訪問による実施の要請（6月）

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年教育施設の小・中・高校生の利用実績：11,722 人（4 月末）（前年度 103%） <p><成果></p> <p>（青少年センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> 中 1 学級づくり合宿において、新設校等新規利用の実績があった。 <p><課題></p> <p>（幡多青少年の家）</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化により利用者の受け入れに影響が出ることが予想され、修繕や設備の更新が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然体験の充実や交通手段の提供など、施設の特性やスタッフのノウハウを活かした活動プログラムを提供することにより、さらなる利用促進を図る。 <p>（青少年センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> リニューアルによる施設機能の充実を有効に活用し、利用者の多様な活動を実現させ、利用促進につなげる。 <p>（幡多青少年の家）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村等のニーズを把握し、必要な施設の老朽化対策を検討する。
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期宿泊体験活動実施予定校：19 校（5 月末時点） <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度実施校からは、事業を通じて集団作りを行った結果、学力の向上につながっているとの報告や、休校舎・民泊の利用により、地域との協働、活性化につながったなどの報告が寄せられている。また、保護者アンケートでは、子どもの自尊心や規律意識の向上がうかがえたとの意見が寄せられている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 事業実施時期の調整による青少年教育施設の有効的活用や、市町村教育委員会、県内の各施設及び団体と連携したカテゴリー分類による活動モデルプログラムの作成。 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村・学校訪問等により、広域市町村での合同実施や学校統合に伴う集団づくりへの本事業の効果等を説明し、実施を働きかける。 活動モデルプログラムの活用により事業効果を高めるとともに、本事業の有効な活用方法を学校や市町村訪問等により周知する。

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組⑤】</p> <p>高知市が設置する高知みらい科学館の運営支援を通じて、県内全域を対象とした理科教育・科学文化振興を図ります。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知みらい科学館運営事業（生涯学習課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数：60,000人（H30） ・プラネタリウム観覧者数：20,000人（H30） ・科学館理科学習等利用学校数：120校（H30） 	<p>ア 県内全域を対象とした理科教育・科学文化の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の運営への参画 <ul style="list-style-type: none"> 県指導主事の派遣及び市職員との併任（4月～） 県市実務者レベルによる協議「科学館事業検討会」第一回開催（4/25） ・科学館で行う事業に全国的な視点を取り入れるための体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> 運営に意見を述べる「科学館運営協議会」委員の選任（4～5月） 中長期的な方向性に意見を述べる「科学館スーパーバイザー」の選任（6～7月） ・開館に向けた高知市との協議等 <ul style="list-style-type: none"> さん SUN 高知 7月号特集
<p>【取組⑥】</p> <p>自然体験や環境学習を推進する指導者を養成し、学校や青少年育成団体等の求めに応じて派遣します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習推進事業（生涯学習課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動実施団体数：5団体 ・自然体験活動指導者育成数：24名 	<p>ア 自然体験・環境学習を推進する指導者の養成及び派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者養成研修等（自然体験活動企画担当者セミナー）業務委託 ・体験活動推進事業にかかる実施団体募集（市町村、各種団体へ周知）

2 第2期高知県教育振興基本計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人々が様々な活動に参加してくれる学校の割合（当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答した割合）【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・小：84.0% ・中：76.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ・小：% ・中：% 	<ul style="list-style-type: none"> ・小：100% ・中：100%
学校支援地域本部が設置された学校数【再掲】	<ul style="list-style-type: none"> ・小：115校 ・中：73校 ・義：2校 	<ul style="list-style-type: none"> ・小：校 ・中：校 ・義：校 	<ul style="list-style-type: none"> ・小：150校以上 ・中：80校以上

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入館者数 プラネタリウム観覧者数 科学館理科学習等利用学校数 ※7/24 開館 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 開館に向け県が運営に積極的に関与する体制を構築できた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 県内全域の県民に利用される科学館となるよう、県市が連携し事業を展開する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 派遣指導主事や併任職員、また、「科学館事業検討会」の定期的な開催により、科学館の運営に日常的に関与する。 開館後の状況や、「科学館運営協議会」での意見、「科学館スーパーバイザー」によるスーパーバイズを踏まえ、高知市と協議のうえ H31 年度事業計画を策定する。
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験活動実施団体数 自然体験活動指導者育成数 ※随時集計予定 <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 自然体験指導者養成研修の受講者が減少傾向にある。また、大人も子どもも自然体験離れが進んでおり、体験活動等の講師依頼も減少している。 各学校、各施設団体への事業の周知が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校や市町村教育委員会へのチラシの配付等により、体験活動の教育効果や重要性、PTA 行事等での活用について周知・啓発を行う。

	H29	H30	H31 目標値
放課後子ども教室及び放課後児童クラブの設置率 (小学校)【再掲】	94.3%	%	95%以上
県立青少年教育施設の利用者数 (小・中・高校生)	99,716 人 ※H30.1 月現在	人	160,000 人以上

基本方向 8 生涯にわたって学び続ける環境をつくる

対策 (4) 「学び続ける」社会の実現に向けた学び直しの機能の強化

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況															
<p>【取組①】</p> <p>「夜間主コース」の設置や社会人入試制度の導入により、働きながら学べる機能を拡充するとともに、公開講座や県民開放授業の開催、履修証明プログラム、科目等履修制度の充実によって、社会人のニーズに応じた多様な学習プログラムを提供するなど、大学における生涯学習、社会人教育の機能の更なる充実・強化を図ります。</p> <p>県立大学等支援費（私学・大学支援課）</p>	<p>・高知県立大学文化学部夜間主コースの入学者の状況</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>H30年度</th> <th>定員</th> <th>入学者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>推薦</td> <td>10人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>社会人</td> <td>20人</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>3年時編入</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>33人</td> <td>33人</td> </tr> </tbody> </table> <p>・公開講座等の開催状況（H30） 高知県立大学： 423人（受講者延べ人数） 高知工科大学： 0人</p>	H30年度	定員	入学者数	推薦	10人	4人	社会人	20人	27人	3年時編入	3人	2人	合計	33人	33人
H30年度	定員	入学者数														
推薦	10人	4人														
社会人	20人	27人														
3年時編入	3人	2人														
合計	33人	33人														
<p>【取組②】</p> <p>産学官民連携センターにおいて、ビジネスの基礎から応用・実践力まで、受講者のニーズやレベルに応じて体系的に身に付けられる産学官民連携によるビジネス研修「土佐まるごとビジネスアカデミー（土佐MBA）」の充実・強化を図ります。</p> <p><取組のKPI> H30 受講者数（延べ）3,000人</p>	<p>ア 体験講座や気軽に相談できる場を設ける「おためしMBA」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/23 高知市（入門講座体験、商人塾体験、経営塾体験） ・4/24 四万十市（入門講座体験・MBAカフェ） ・4/26 安芸市（入門講座体験・MBAカフェ） <p>イ 本科・実科の各講座の募集開始（4月～）</p> <p>ウ 各講座の開講</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略コース（5/25～7/21（予定）） <p><H30バージョンアップのポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報発信の強化・学びを体験できる機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・おためしMBAを開催する。 ・企業等への個別訪問、関係機関と連携したPRを強化する。 ●ニーズに対応したカリキュラムへの再編 <ul style="list-style-type: none"> ・入門講座を初心者にも興味を持っていただきやすい内容に統一する。 ・演習や自社ビジネスに落とし込んで考える部分を強化する。 ・事業戦略策定済企業のニーズに応じた講座の受講を推奨する。 ●地域で学ぶ場づくり <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用して受講できる「サテライトプラットフォーム」「ネット受講」の仕組みを継続するとともに、企業へのPRを強化する。 ・「目指せ！弥太郎商人塾」の短期集中セミナーを、幅広く地域で試行的に開催する。 <p>【参考】受講者数 H28実績(延べ)3,006人 H29実績(延べ)4,313人</p>															

2 第2期高知県教育振興基本計画における指標の状況

**対策
の
概要**

誰もが学び続け、夢や志に挑戦できる社会の実現に向け、大学における学び直しの機能を拡充し、社会人の学びを支援します。また、地域や産業を支える人づくりに向け、起業を目指す人材養成のためのビジネス研修をはじめ、社会人や企業のニーズに応じた実践的・専門的な教育プログラムの充実・強化を図ります。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間主コースに多くの社会人学生が入学しており、働きながら学べる場として機能している。 ・公開講座や履修証明プログラム、リカレント講座等を活発に開催することで、生涯学習、社会人教育の機能が強化されている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き広報活動を積極的に行い、認知度を上げていく。
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/25「経営戦略入門」受講者 125 人（ネット受講含む） <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入門講座の内容統一による効果については、受講者アンケートの集計及び今後の他コース入門講座の実施を待たなければならないが、初回 5/25 はおおむね好評のうちに終了した。 ・おためし MBA については、今まで土佐 MBA を受講したことのない方に多く受講していただき、実際の講座申込につながるなど、新たな受講者の掘り起こしにつながった。 ・地域で学ぶ場づくりとして初めて実施する「商人塾短期集中セミナー in 幡多」は順調に受講申込をいただいております、ニーズの高さが再確認できた。 <p><今年度事業実施にあたっての課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 十分かつ確かな情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・企業内の人材育成ニーズが相当程度存在しているにもかかわらず、必要な情報が必要な方に届いていない可能性がある。 ・講座の内容が、実際以上にハードルが高く感じられている傾向にある。 ● 受講者ニーズの反映 <ul style="list-style-type: none"> ・受講の入り口となる本科/入門講座の内容をより身近なものに感じていただく必要がある。 ・学びを実際のビジネスへ活用する方法を知りたいとの意見が寄せられている。 ・事業戦略策定済企業の多くが、人材育成を課題として認識している。 ● 学ぶ機会の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・受講したくても教室まで来ることが難しい方が、インターネットを活用して受講する方法について、まだ十分知られていない可能性がある。 ・一方、ネットを介さず、講師や他の受講者と議論しながら学ぶ商品開発等の実科の講座を地域で開催してほしいという根強い要望もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報発信の強化・学びを体験できる機会の提供 <ul style="list-style-type: none"> ○ おためし MBA の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 7/22、23 エグゼクティブコース体験 ・ 8/30 入門講座体験 ○ 企業等訪問や関係機関と連携した PR を強化 ● 講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営戦略コース (5/25~7/21) ・ マーケティング・商品開発コース (6/7~7/10) ・ 会計コース (6/6~8/20) ・ 財務戦略コース (7/3~8/8) ・ 情報ビジネスコース (9/7~10/27) ・ 組織・人的資源マネジメントコース (9/6~11/16) ・ 事業管理コース (10/12~11/7) ・ スキルアップセミナー (7/18~9/25) ・ ビジネストレンドセミナー (6/13~2月) ・ エグゼクティブコース (9/27~2/14) ・ 土佐経営塾 (9/16~11/25) ・ 目指せ！ 弥太郎商人塾 (7/25~3/8) ・ 商人塾短期集中セミナー in 幡多 (6/28~10/25) ・ 社内起業家 (イントラプレナー) 育成支援講座 (6月~9月) ・ 新事業創出講座 (10月~2月)

基本方向 9 文化芸術の振興と文化財の保存と活用を図る

対策 1- (1) 県民一人一人が文化芸術に親しむ環境づくりの推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況																																																			
<p>【取組①】</p> <p>美術館をはじめとする県立文化施設において、質の高い文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、地域に向向いてのワークショップやクラシック音楽教室の実施などのアウトリーチ活動を通して、文化芸術を身近に感じてもらえる取組を推進します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知城歴史博物館管理運営委託（文化振興課） ・美術館管理運営委託（文化振興課） ・歴史民俗資料館管理運営委託（文化振興課） ・坂本龍馬記念館管理運営委託（文化振興課） ・文学館管理運営委託（文化振興課） ・県民文化ホール管理運営委託（文化振興課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立文化施設への来館機会の創出（各館の年間観覧者数の目標(H30 年度)） ・高知城歴史博物館：120,000 人 ・美術館：50,000 人 ・歴史民俗資料館：33,000 人 ・坂本龍馬記念館：200,000 人 ・文学館：25,000 人 ・県民文化ホール：15,000 人 	<p>県立文化施設の管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6つの県立施設の管理・運営を指定管理者に委託し、様々な企画展示やホール事業、教育普及活動を実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th>(利用者数)</th> <th>5 月末時点</th> <th>(29 年度実績)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高知城歴史博物館</td> <td>24,031 人</td> <td>(188,049 人)</td> </tr> <tr> <td>美術館</td> <td>6,146 人</td> <td>(102,966 人)</td> </tr> <tr> <td>歴史民俗資料館</td> <td>5,794 人</td> <td>(34,498 人)</td> </tr> <tr> <td>坂本龍馬記念館</td> <td>40,229 人</td> <td>(休館)</td> </tr> <tr> <td>文学館</td> <td>3,984 人</td> <td>(22,055 人)</td> </tr> <tr> <td>県民文化ホール</td> <td>27,630 人</td> <td>(243,722 人) ※4 月末時点</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ活動を通じた取組（30 年度実施予定（29 年度実績）） <table border="1"> <thead> <tr> <th>(高知城歴史博物館)</th> <th>出前授業</th> <th>(4 校)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(美術館)</td> <td>出前びじゅつ講座</td> <td>(4 校)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出前クラシック教室</td> <td>(7 校)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出前演劇教室</td> <td>(2 校)</td> </tr> <tr> <td>(歴史民俗資料館)</td> <td>史跡めぐり・バスツアー</td> <td>(1 回)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出張派遣授業</td> <td>(6 校)</td> </tr> <tr> <td>(坂本龍馬記念館)</td> <td>出前授業</td> <td>(延 59 校)</td> </tr> <tr> <td>(文学館)</td> <td>紙芝居普及活動</td> <td>(3,013 人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出張朗読会</td> <td>(129 人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>児童生徒文学作品朗読コンクール</td> <td>(916 人)</td> </tr> </tbody> </table>	(利用者数)	5 月末時点	(29 年度実績)	高知城歴史博物館	24,031 人	(188,049 人)	美術館	6,146 人	(102,966 人)	歴史民俗資料館	5,794 人	(34,498 人)	坂本龍馬記念館	40,229 人	(休館)	文学館	3,984 人	(22,055 人)	県民文化ホール	27,630 人	(243,722 人) ※4 月末時点	(高知城歴史博物館)	出前授業	(4 校)	(美術館)	出前びじゅつ講座	(4 校)		出前クラシック教室	(7 校)		出前演劇教室	(2 校)	(歴史民俗資料館)	史跡めぐり・バスツアー	(1 回)		出張派遣授業	(6 校)	(坂本龍馬記念館)	出前授業	(延 59 校)	(文学館)	紙芝居普及活動	(3,013 人)		出張朗読会	(129 人)		児童生徒文学作品朗読コンクール	(916 人)
(利用者数)	5 月末時点	(29 年度実績)																																																		
高知城歴史博物館	24,031 人	(188,049 人)																																																		
美術館	6,146 人	(102,966 人)																																																		
歴史民俗資料館	5,794 人	(34,498 人)																																																		
坂本龍馬記念館	40,229 人	(休館)																																																		
文学館	3,984 人	(22,055 人)																																																		
県民文化ホール	27,630 人	(243,722 人) ※4 月末時点																																																		
(高知城歴史博物館)	出前授業	(4 校)																																																		
(美術館)	出前びじゅつ講座	(4 校)																																																		
	出前クラシック教室	(7 校)																																																		
	出前演劇教室	(2 校)																																																		
(歴史民俗資料館)	史跡めぐり・バスツアー	(1 回)																																																		
	出張派遣授業	(6 校)																																																		
(坂本龍馬記念館)	出前授業	(延 59 校)																																																		
(文学館)	紙芝居普及活動	(3,013 人)																																																		
	出張朗読会	(129 人)																																																		
	児童生徒文学作品朗読コンクール	(916 人)																																																		
<p>【取組②】</p> <p>県民一人一人が文化芸術活動に主体的に参加できる環境を更に整えます。また、高知城歴史博物館や坂本龍馬記念館など、県民が地域の歴史や文化に楽しみながら触れることができるとともに、新たなにぎわいを生み出すことができる施設を整備します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂本龍馬記念館整備事業（文化振興課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂本龍馬記念館の整備完了 	<p>県立文化施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・坂本龍馬記念館の整備が完了し、平成 30 年 4 月 21 日にグランドオープン 																																																			
<p>【取組③】</p> <p>学校等との連携により、各文化施設の特色に応じた、地域の歴史学習や鑑賞活動を促進するとともに、出前授業や体験学習などのさまざまな学習機会を活用して、文化芸術活動を推進します。</p>	<p>教育普及活動</p> <p>※取組①のとおり</p>																																																			

**対策
の
概要**

県民一人一人が文化芸術に普段から親しむことにより、心豊かな人生を送ることができるよう、文化芸術に親しむ環境づくりを推進します。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企画展やホール事業、教育普及事業を実施し、来館機会の創出に努めている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 出前授業等の取組を広げていくには、学校や教員の理解を得ることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術振興ビジョンに基づき、幼少期から文化芸術に触れる機会の創出や児童生徒の文化芸術活動の促進につなげられるよう、各市町村の教育委員会や学校へ働きかける。 アウトリーチ活動を引き続き行う。
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂本龍馬記念館新館建築及び既存館改修工事の完了 	<ul style="list-style-type: none"> 県立文化施設として取組①をはじめ、企画展や関連事業を開催することにより、地域の歴史や文化に楽しみながら触れることのできる取組を行う。
<p>教育普及活動 ※取組①のとおり</p>	<p>教育普及活動 ※取組①のとおり</p>

基本方向 9 文化芸術の振興と文化財の保存と活用を図る。

対策 1-(2) 文化芸術等を活用した地域活性化の推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>県民が自主的に文化芸術活動を行った成果としての発表会や、県民に優れた芸術活動の鑑賞機会を提供する「高知県芸術祭」を開催します。</p> <p>また、県内各地の民間団体が行う文化芸術活動を支援することにより、県民が文化芸術に親しむ環境づくりを推進します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none">文化芸術振興ビジョン推進事業（文化振興課） <p><取組のKPI></p> <p>文化人材育成プログラム受講者（H30）</p> <ul style="list-style-type: none">アートビジネス講座（延べ150人）アートクリエイション講座（15人）アートマネジメント講座（延べ60人）	<p>1 文化芸術に触れる機会の充実</p> <p>(1) 発表の場の拡充</p> <ul style="list-style-type: none">各種イベント（お城祭り、豊稷祭、クルーズ船寄港時等）における発表機会の創出のために関係機関と調整（4月～随時） <p>(2) 高知県芸術祭の充実</p> <ul style="list-style-type: none">チェコ・フィルハーモニー管弦楽団公演に向けた調整（4月～）Kochi Art Projects（14事業）募集（5/31締切） <p>(3) 文化芸術団体の情報収集と発信</p> <ul style="list-style-type: none">文化芸術ホームページ（芸事図鑑）の充実 15件 <p>2 人材の育成〔文化人材育成プログラム〕</p> <p>(1) アートビジネス講座</p> <ul style="list-style-type: none">文化芸術を観光振興や産業振興に生かすために必要なマーケティングや商品企画などの手法を具体的な実践事例を基に学ぶことができる講座を実施→年6回（6、7、8、9、10、11月予定） <p>(2) アートクリエイション講座</p> <ul style="list-style-type: none">文化芸術の力を産業振興に生かすため、文化芸術面における創造的な人材の育成を図る。具体的には、総合芸術である舞台演劇やショートフィルム等の制作体験を通じて、必要な技術や知識を習得する。さらに、アドバイザーのネットワークを生かし、全国の多様な文化人を招へいすることを通じて、本県人材とのネットワークづくりにつなげていく。→募集（5月～、締切5/18） 98応募・オーディションの開催（5/26）・6月開講予定 <p>(3) アートマネジメント講座</p> <ul style="list-style-type: none">芸術祭（KAP）などを核として、文化芸術と自然や歴史、産業等の幅広い分野をつなぎ、県内各地で文化芸術に触れる機会の創出を図ることのできる人材を育成する。→年5回（6/30、8月、11月、1月、2月）
<p>【取組②】</p> <p>山、海、川の豊かな自然から生まれた本県の文化や歴史、人を文化広報誌により県内外に向け積極的に発信していきます。高知県を新たな視点から紹介することにより、それぞれの地域への関心を高め、交流人口の増加や、観光、産業振興につなげていきます。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none">文化広報誌発行事業（文化振興課）	<ul style="list-style-type: none">文化広報誌「とさぶし」の発行（7,9,12,3月）23号の発行準備（5月～）

対策
の
概要

県民の文化芸術活動を支援するとともに、本県の文化芸術や歴史等を発信し、交流人口の増加や観光振興等につなげることにより、地域の活性化を推進します。

C 取組の成果・課題	A 今後の取組の方向
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光イベント等における発表の機会の創出のために必要な文化芸術団体に関する情報を一元化し、団体とイベント主催者が直接出演調整を行う ・芸術祭について、県民や文化芸術団体等へのさらなる周知 ・文化人材育成プログラムの周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・県文化財団と連携し、情報の収集発信を行い、観光イベント等の主催者と文化芸術団体とのマッチングを図り、発表の場の創出を図り、今後は団体とイベント主催者が直接調整を行うことができるよう、情報の一元化を進める。 ・芸術祭の助成事業や共催・協賛行事であることを周知するために芸術祭ロゴの使用の徹底を図る。 ・協賛・共催事業や参加者の増加を目指し、高知県芸術祭の活性化を図る
<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県ならではの文化や地域にうもれた文化を広く県内外に発信。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外イベント等での情報発信に関する効果の測定 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化広報誌を活用した高知文化の発信

基本方向 9	文化芸術の振興と文化財の保存と活用を図る
対策 2- (1)	高知城の保存管理と整備の推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>高知城は、多くの建造物が建築後 200 年を超え、昭和の解体修理からも 60 年が経過しており、保全のための対応が必要な箇所が増加しています。このため、引き続き適切な維持修繕に取り組むとともに、南海トラフ地震に備えるための取組を進めます。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知城保存管理事業（文化財課） <p><取組の KPI></p>	<p>ア 高知城の適切な維持修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修理工事（控え柱修復） ・台風 21 号（H29/10/22 接近）による梅の段北側石垣の修理積算施工監理委託(5/14 契約) <p>イ 高知城の南海トラフ地震に備える取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知公園北出入口及び弘徳館北側斜面の保全に向けた検討 ・前年度施工箇所の経過観察（保全状況の確認及び工法評価）
<p>【取組②】</p> <p>高知城を訪れる方々の満足度の向上を図るため、継続的な景観対策等を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知城保存管理事業（文化財課） <p><取組の KPI></p>	<p>ア 高知城の継続的な景観対策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・追手門大棟及び元藤並神社石垣の支障木の剪定（5/18 発注）
<p>【取組③】</p> <p>高知城の文化財的価値についての理解を深めるため、高知城歴史博物館と連携し、現地講座の開催や建造物内の説明看板の改修（多言語化）などの取組を行うとともに、重要文化財建造物の調査を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知城保存管理事業（文化財課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知城入場者数：年計画 270,000 人 	<p>ア 高知城歴史博物館と連携した現地講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの高知城探検開催に向けた連携協議（8 月 4 日開催予定） <p>イ 高知城アプリの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度までに利用の前提となる Wi-Fi ネットワークの整備（現地に表示） ・広報媒体（フライヤー原稿）の作成 ・ガイドボランティア団体への情報提供 <p>ウ 重要文化財建造物の調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井工業大学調査資料の確認

2 第 2 期高知県教育振興基本計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
高知城の入場者数	309,345 人 (うち小・中・高校生 41,385 人)		270,000 人以上 (うち小・中・高校生 38,000 人以上)

対策
の
概要

次世代に高知城（国史跡・重要文化財）を良い状態で引き継ぐため、適正な管理や計画的な修理と併せて、継続的な景観の改善に取り組みます。
また、文化財的価値についての理解を深めるため、高知城歴史博物館と連携した取組や重要文化財建造物の調査を推進します。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 高知城梅の段北側石垣の復旧に向けて、工事費積算の準備を進めることができた。 前年度施工箇所は、問題なく経過は良好である。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 施工時における文化財の保存 石垣解体修理範囲を最小限とした上で、オリジナルの石垣を保全する。 斜面保全工事の施工時及び竣工後の文化財及び景観や周辺への配慮 ①現状変更を最小限に留めること、②施工時及び竣工後の景観及び利用に配慮すること、③周辺交通への影響が見込まれることから、道路管理者などと十分な調整が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 修理工事（控え柱修復 6月発注予定） 梅の段北側石垣の修理 実施設計及び発掘調査の委託の発注（6月予定） 工事費積算→補正予算・補助金要望（7月） 工事発注（10月予定）竣工（平成31年3月予定） 斜面保全工事 道路管理者との協議 事業費積算（平成31年度予算対応）
<p>【KPI の状況】</p> <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財や景観を保全するための樹木の管理（剪定、伐採）が必要であることの県民理解の促進。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門家との協議（エリアごとの管理計画、剪定及び伐採対象の検討）に基づき、経費積算等の管理剪定実施に向けた作業を進める。 樹木医など関係者との意見交換を行い日常の剪定や除草など管理作業の技術向上に努めるとともに管理計画に対する意見募集を行い、継続的な景観管理作業の推進と理解促進につなげていく。 管理計画の県民への広報
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知城入場者数：33,569人（4月末現在） 昨年度同月比 2,031人増 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 高知城アプリは、新たな情報提供手段が整備できた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 高知城に関する資料調査と分析のためには資料の整理等を行う必要がある。現在までのところ、高知城天守に関する検討資料は見つかっていない。県外博物館等調査範囲を拡大する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 現地講座の企画 夏休みの高知城探検に向けて、高知城歴史博物館と企画の協議を進める。また、その他にも連携の取組を具体化できないか協議を行う。 高知城アプリの活用 広報に努め、利用の拡大を図る。 県外博物館等資料の調査（江戸期の再建の際の詳細記録の確認及び整理）を行い、これらをもとに専門家に相談し、今後の調査内容及び国宝指定を目指すにあたっての課題整理を進める。また、先行して調査を進めている坂井市の事例を参考に類似調査などの準備を進める。

基本方向 9	文化芸術の振興と文化財の保存と活用を図る
対策 2- (2)	文化財の保存と活用の推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>国・県指定文化財の保存と活用を図るため、文化財に関する専門知識を持つ文化財保護指導員や市町村教育委員会と連携した文化財に対する巡視活動等に基づき、文化財の保存上必要な事業に対する財政的支援や技術的指導を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財管理調査事業（文化財課） <p><取組の KPI></p>	<p>ア 文化財保護指導員や市町村教育委員会と連携した文化財の巡視活動等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護指導員（各地域の文化財専門家による巡視活動：44 名委嘱予定）の推薦依頼→文化財巡視を実施中 ・文化財保護指導者講習会（6/21 開催予定） ※参加対象者：文化財保護指導員及び市町村教育委員会文化財担当者 ・市町村担当者会 ・文化財保護連絡協議会研修会 <p>イ 文化財の保存上必要な事業に対する財政的支援・技術的指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付決定 4月 1日 18 団体 18 事業 34,918 千円交付決定 4月 13日 12 団体 15 事業 2,636 千円交付決定
<p>【取組②】</p> <p>県保護有形文化財の修復工事のバックアップ</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財管理調査事業（文化財課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一四半期に保存修理設計委託 ・第二四半期に保存修理工事発注 ・第四四半期に主屋の修理完了 	<p>ア 県保護有形文化財旧岡家住宅（西の岡）の修理を田野町へ要請（H29/9/21、11/8）→文化財保存助成事業で平成 30・31 年度の 2 カ年をかけて修理を行う。</p>
<p>【取組③】</p> <p>文化財を保存し後世に伝えるとともに、その価値についての理解を深めるため、計画的な調査と文化財指定等を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財管理調査事業（文化財課） <p><取組の KPI></p>	<p>ア 文化財の計画的な調査と文化財指定等</p> <ul style="list-style-type: none"> ※既指定文化財について、衰亡や管理上の課題のあったものについて現地確認及び対策の検討を行う。 ・国史跡・天然記念物 龍河洞の公開活用協議(4/26) ・国特別天然記念物カモシカ合同調査委員会(5/9) ・国特別天然記念物オオサンショウウオ生息地調査 (5/23) ・県天然記念物 吾北村のヤブツバキの現地確認 (5/1) →指定解除の準備 ・県保護有形文化財 旧赤岡町の土佐芝居絵屏風調査立会。(4/17) 調査報告書提出 (5/20) 大川上美良布神社社殿修理状況確認(4/18,5/11) <p>新指定に向けた調査 木毘沙門天立像 (5/24 長法寺 四万十市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風被害を受けた文化財への対応 現地調査を実施し、所有者と修理について協議 国重要文化財 朝倉神社 県保護有形文化財（建造物）修理協議 (4/13) 大川上美良布神社社殿の応急修理費用に対し、補助金の交付 (4/1) ・民俗芸能調査 調査準備委員の選任等の調整 ・文化財の公開 「明治元年の日本と土佐」（高知県立高知城歴史博物館 3/21～5/28） 国宝 1 件（3 点）、重要文化財 3 件（3 点）

2 第 2 期高知県教育振興基本計画における指標の状況

※計画における指標の設定なし

対策
の
概要

国・県指定文化財の保存上必要な事業に対する財政的支援や技術的指導を行うとともに、不足している文化財建造物に関する専門的知識を持つ人材を育成することや、文化財の計画的な調査を実施することにより、文化財的価値の向上に資する文化財の保存と活用を推進します。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財を継承する地域の人口減少など活力の低下に加え市町村に文化財専門職員が少なく、地域の文化財保護活動の担い手育成が重要である。研修内容等について、参加者から要望が寄せられており、研修計画に反映させる。また、欠席する市町村が固定化傾向にあることから、研修参加の呼びかけを強めるとともに日常業務における連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護指導者講習会や研修会の内容を受講者の要望も踏まえ見直すとともに、参加者増に向けて、市町村等に働きかけを強める。また、巡視などの日常活動の実施状況を丁寧に把握し、破損箇所等の早期発見による迅速な修理の実施、保存活動の現状把握を行い効果的な助言を行うこと、また、地域住民との連携強化により地域における保護活動の活性化につなげる。 市町村の文化財保護審議会委員を対象とした研修会を開催し、文化財保護の専門知識を持った人材の育成を進める。
<p>【KPI の状況】</p> <p>※随時、進捗状況を確認</p> <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財建造物としての修理が行われているかについて確認が必要。 隣接する県保護有形文化財「岡御殿」のように今後観光資源として活用する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 第二四半期に保存修理工事発注 第四四半期に主屋の修理完了
<p>【KPI の状況】</p> <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財の現状調査を一部であるが、実施できた。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 新たに指定対象となる文化財の調査検討を進める必要がある。 オオサンショウウオについては、生息地の保全を図りつつ、工事関係者への情報公開や県民に対する周知が必要。 旧陸軍歩兵第 44 連隊弾薬庫及び講堂について、登録有形文化財又は県保護有形文化財（建造物）に相当するとの答申を受けたことを踏まえ、関係者と保存活用の検討に向けた協議を進める必要がある。 調査を実施した物件については、平成 30 年度の文化財保護審議会に向け、調査結果をもとに指定の可否を判断する資料を作成する必要がある。 既指定文化財の適切な保存及び活用を進める必要がある。 昨年台風 21 号により被災した文化財もあり、文化庁や専門家の指導を受け、早期復旧を図る必要がある。 また、平成 31 年度の事業化が必要な物件については、早期調査を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定対象となる文化財の検討 →文化財保護審議会の開催 課題や本年度の指定候補案件について協議調査を文化財保護審議会委員と協力して実施する。 保存に課題のある文化財の現地確認と対策の実施。 巡視で課題を確認したものについて、現地確認 民俗芸能調査の準備 調査準備委員会の開催（6/5 開催予定） 関係者との調整、調査体制、方法の検討 オオサンショウウオの保護について文化庁の現地指導要請 カモシカ特別調査の委託契約締結及び委員会の開催

基本方向 9	文化芸術の振興と文化財の保存と活用を図る
対策 2- (3)	埋蔵文化財の発掘調査・保護の推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を円滑に行うため、事前の試掘確認調査を実施するとともに、関係機関と十分に連携します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財発掘調査事業（文化財課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> 試掘確認調査実施日数：年計画 54 日 	<p>ア 開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査のための事前試掘確認調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 県道奈比賀川北線に伴う試掘確認調査を実施(5/18～5/22 安芸市奈比賀)し、工事着手に支障が無いと判断した。 県道右山角崎線に伴う試掘確認調査(5/29～5/30 四万十市角崎)を実施した。 牧野植物園磨き上げ整備事業に伴う試掘確認調査の実施【(2/19～21)】 <p>イ 発掘調査の円滑化のための関係機関との十分な連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 県道奈比賀川北線(関係機関:安芸土木事務所) 県道右山角崎線(関係機関:幡多土木事務所) 若宮ノ東遺跡(関係機関:中央東土木事務所) 高田遺跡(関係機関:四国地方整備局土佐国道事務所)
<p>【取組②】</p> <p>埋蔵文化財の適切な保存と活用を図るため、発掘調査で出土した遺物は、埋蔵文化財センターで適切に保存するとともに、各種講座や市町村と連携した地域展等を開催します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財センター管理運営事業（文化財課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財センター入館者数：年計画 3,700 人 	<p>ア 埋蔵文化財センターにおける出土遺物の適切な保存</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 28・29 年度に実施した発掘調査によって出土された遺物についての洗浄・註記・実測・トレース、現場図面をもとに製図等の整理作業 ※高田遺跡、若宮ノ東遺跡、高知城跡北曲輪 <p>イ 埋蔵文化財に関する各種講座や市町村と連携した地域展等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財センター入館者数 396 人（5 月末） 企画展等展示会「花ひらく天平の器たち」の開催(4/29～7/6) 出前考古学教室【計画:当期 33 校/年 70 校】 (32 校 延べ 926 人)（5 月末） 公開講座の実施【計画:年 70 回】 <ul style="list-style-type: none"> 親子考古学教室【計画:年 32 回】 古代ものづくり【計画:当期 1 回/年 20 回】 考古学から学ぶ史跡の見方【計画:当期 1 回/年 4 回】 先生のための遺跡調査入門講座【計画:年 1 回】 遺跡解説会【計画:当期 1 回/年 3 回】 まいぶんセンターまつり【計画:年 1 回】 ほか <p><今後の予定></p> <ul style="list-style-type: none"> 巡回展「四国の彩り」【7/16～9/21】 特別展「土佐 焼物のなりわい」【10/14～3/29】 地域展「安芸市の遺跡展」【安芸市歴史民俗資料館(2/2～3/3)】

2 第 2 期高知県教育振興基本計画における指標の状況

※計画における指標の設定なし

対策
の
概要

開発事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査を円滑に実施し出土遺物を保存するとともに、市町村との連携により地域の歴史や文化を知る機会を設けるなど、埋蔵文化財の発掘調査や保護を推進します。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試掘確認調査実施日数：5日（5月末） <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・早めに情報収集ができたことにより、事業者にとっては事業着手がスムーズにできることとなった。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を円滑に行うに当たっては、その必要性の有無を把握するための事前試掘確認調査として、当該計画区域内外の用地境界、工程、方法、以降の手続き等について関係機関や地元自治体と十分に調整する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き関係機関等と十分に連携し、事前試掘確認調査及び発掘調査を円滑に実施していく。
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財センター入館者数：396人（5月末） 昨年度当期比 146名減 <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財センターの知名度は向上してきているものと思われるが、更に、埋蔵文化財に関する核となる施設として調査研究や埋蔵文化財に対する関心や親しみが広がるよう努める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座等の企画や実施について、さまざまな広報ツールを活用して積極的に情報提供するとともに地域や歴史教育に欠くことのできない施設であることを一層アピールしていく。

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 1- (1) 新たなスポーツ推進体制による持続可能な地域スポーツの推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>総合型地域スポーツクラブ等を、各市町村のスポーツ活動の拠点「地域スポーツハブ」として育成し、地域のニーズに応じた公益性の高いスポーツ活動の展開を支援することにより、地域スポーツを通じたビジネス化の促進や地域におけるスポーツ活動の活性化につなげます。</p> <p>また、地域スポーツハブ等の運営を中心的に担い、スポーツ活動の企画・運営・調整等を行う「地域スポーツコーディネーター」を育成します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課） ・地域スポーツコーディネーター等養成塾（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 4） ・促進委員会の開催（全 5 回予定） <p>※設置後に促進委員会にて地域のスポーツ資源やニーズについて情報共有を行い、各ハブで取組決定→KPI に反映</p>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <p>①地域スポーツハブの設置に向けた説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市（2/26、3/12、4/10、5/16） ・南国市（2/16、3/12、4/4） ・土佐清水市（2/28、3/12、4/16） ・四万十町（2/28、3/12、4/12、5/9） ・合同説明会（5/21） <p>②地域スポーツコーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市（総合クラブとさ）（4/1） <p>→促進委員会設置に向けた調整（県体協）（5/16）</p> <p>イ 地域のスポーツ活動を支える人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師との調整（4月～）
<p>【取組②】</p> <p>1つの市町村では解決できないスポーツ活動の課題を、広域のスポーツ関係者等が連携して解決する「広域スポーツエリアネットワーク」による取り組みを支援します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域エリアネットワーク促進事業（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域エリアネットワークで開催したスポーツイベントへの参加者数（H29 年度比 5%増） ・広域エリアネットワークで開催したスポーツイベントへの、開催市町村以外からの参加者数（H29 年度比 5%増） 	<p>ア エリアごとの取組の推進</p> <p>①物部川・嶺北地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアネットワーク会議（4/27） <p>②高岡・吾川地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回エリアネットワーク会議に向けた打合せ会議（5/9） ・H30 年度事業「ソフトボール教室」事業日程等調整会議（5/12） ・エリアネットワーク会議（5/24） <p>③幡多地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアネットワーク会議【計画：6月中旬】
<p>【取組③】</p> <p>総合型地域スポーツクラブの質的向上と自立的運営を促進するため、県体育協会が行う総合型地域スポーツクラブの創設から自立までを一体的に支援するクラブアドバイザーや、総合型地域スポーツクラブの運営の核となるクラブマネージャーの育成を支援します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツコーディネーター養成塾（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アシスタントマネージャー資格新規取得（4人） ・コーディネーター養成塾への延べ参加者数（120人） 	<p>ア 地域のスポーツ活動を支える人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師との調整（4月～）

**対策
の
概要**

既存の総合型地域スポーツクラブ等を核として地域のスポーツ活動の拠点「地域スポーツハブ」の育成を進めるとともに、多分野の関係者の連携による取組を支援することにより、民間活力やノウハウ等を活用したスポーツの産業化を目指し、地域の実情や地域住民の多様なニーズに応じたスポーツ活動の充実を図ります。

C 取組の成果・課題・留意点

【KPI の状況】

- ・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 4）
※H30.7月に確認
- ・促進委員会の開催（全 5 回予定）
※H30.9月に中間確認、H31.3月に最終確認

<成果>

- ・核となる総合型地域スポーツクラブや市町の関係者には、地域スポーツハブの設置・展開について概ね理解が得られている。

<課題>

ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実

- ・地域スポーツコーディネーターの配置など、早期に地域スポーツハブの展開に係る環境づくりを進める必要がある。

イ 地域のスポーツ活動を支える人材の育成

- ・参加者の確保

A 第 2 四半期以降の取組

ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実

- ・促進委員会を開催するため、地域スポーツコーディネーターの確保や促進委員会の構成メンバーの確定、構成メンバーへの説明などを実施。
- ・地域スポーツハブの立ち上げ
- ・促進委員会の開催
- ・地域のニーズに応じたスポーツ活動の実施

イ 地域のスポーツ活動を支える人材の育成

- ・日程、内容を早期に決定し、6月中旬までに参加者の募集を行う。

日程	テーマ
第 1 回 (7/21)	総論
第 2 回 (8/18)	アシスタントマネージャー基礎 I
第 3 回 (9/1)	アシスタントマネージャー基礎 II
第 4 回 (9月)	調整中
第 5 回 (10/13)	NPO 法人事務 (法改正、会計)
第 6 回 (12/1)	NPO 法人事務 (税務)
第 7 回 (1月)	NPO 法人事務 (法務・労働基礎)
第 8 回 (2月)	ファンドレイジング (資金調達)

【KPI の状況】

- ・広域エリアネットワークで開催したスポーツイベントへの参加者数（H29 年度比 5%増）
※H30.9月に中間確認、H31.3月に最終確認
- ・広域エリアネットワークで開催したスポーツイベントへの開催市町村以外からの参加者数（H29 年度比 5%増）
※H30.9月に中間確認、H31.3月に最終確認

<成果>

- ・物部川・嶺北地区及び高岡・吾川地区については、今年度の取組がスタートし、今年度の事業計画が確認された。

<課題>

①物部川・嶺北地区

- ・事業参加市町村の減

②高岡・吾川地区

- ・エリアネットワーク事業の磨き上げ

③幡多地区

- ・H30 年度取組内容の精査

- ・各エリアの課題について、関係者が共通認識を持ち、解決に向けて PDCA サイクルを徹底するよう促す。

<物部川・嶺北地区>

- ・事業実施（7月～）
- ・エリア会議（9月、2月）

<高岡・吾川地区>

- ・事業実施（7月～）
- ・エリア会議（10月、1月、2月）

<幡多地区>

- ・幡多エリア総会（6/8）

【KPI の状況】

- ・アシスタントマネージャー資格新規取得（4人）
※H30.10月に確認
- ・コーディネーター養成塾への延べ参加者数（120人）
※H30.9月に中間確認、H31.3月に最終確認

<成果>

- ・今年度から県体育協会に配置されたクラブアドバイザーと連携し、総合型地域スポーツクラブのクラブマネージャー育成に向けた研修会の具体的な準備が進んでいる。

<課題>

- ・参加者の確保

- ・日程、内容を早期に決定し、6月中旬までに参加者の募集を行う。

日程	テーマ
第 1 回 (7/21)	総論
第 2 回 (8/18)	アシスタントマネージャー基礎 I
第 3 回 (9/1)	アシスタントマネージャー基礎 II
第 4 回 (9月)	調整中
第 5 回 (10/13)	NPO 法人事務 (法改正、会計)
第 6 回 (12/1)	NPO 法人事務 (税務)
第 7 回 (1月)	NPO 法人事務 (法務・労働基礎)
第 8 回 (2月)	ファンドレイジング (資金調達)

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
総合型地域スポーツクラブの会員数	7,726 人		8,500 人以上
運動やスポーツを行っているが、もっと行いたいと思う人の割合	25.2% (H28)		30%以上
運動やスポーツに関心が無い人の割合	13.3% (H28)		10%以下
各地域スポーツハブでのスポーツ活動数	-		地域スポーツハブ立ち上げから3年後のスポーツ活動数が、立ち上げ年度比で10%増

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 1- (2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

7 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>幼児期の運動機会を増やすため、モデル園に運動遊びを専門的に指導できる人材を派遣し、その実践活動の普及を図るとともに、家庭において親子で運動遊びを楽しむことができる教室の実施などの取組を推進します。</p> <p>また、運動遊びコーディネーターを養成するための研修会や「幼児期運動指針」に沿った理論と実技を学ぶことができる研修会の開催など、運動遊びの指導ができる人材の育成に取り組みます。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児期の身体活動推進事業（保健体育課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル園において、幼児期運動指針の趣旨を生かした取組が実践される。 ・運動遊びコーディネーター研修会の参加者 50 名以上。 	<p>ア 保育園・幼稚園等への運動遊びを専門的に指導できる人材の派遣</p> <p>①研究指定園（4園）による「幼児期運動指針」に基づく運動遊びの実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門的指導者による研究指定園への訪問 浜改田保育園：4/27、5/22 城南保育園：4/24、5/9 日の出保育園：4/26、5/18 池川保育園：4/25 <p>②親子で楽しむ運動遊び事業【計画：県内 8 か所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問会場決定。訪問講師の調整。 <p>③運動遊びコーディネーター研修会の開催</p> <p>【計画：8/27 講師は吉田伊津美氏（東京学芸大学教授）】</p>
<p>【取組②】</p> <p>地域スポーツハブや総合型地域スポーツクラブ等が提供するスポーツ活動が、子どもから高齢者、子育て世代、職場、女性、障害者などの多様なニーズに応じた取組として拡充するよう支援します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 4） ・促進委員会の開催（全 5 回予定） ※設置後に促進委員会にて地域のスポーツ資源やニーズについて情報共有を行い、各ハブで取組決定→KPI に反映 	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <p>①地域スポーツハブの設置に向けた説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市（2/26、3/12、4/10、5/16） ・南国市（2/16、3/12、4/4） ・土佐清水市（2/28、3/12、4/16） ・四万十町（2/28、3/12、4/12、5/9） ・合同説明会（5/21） <p>②地域スポーツコーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市（総合クラブとさ）（4/1） →促進委員会設置に向けた調整【県体協】（5/16）
<p>【取組③】</p> <p>運動部活動の指導者の資質向上のための取組や、優秀な外部指導者の招へいなどにより、運動部活動の更なる充実を図ります。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動サポート事業（保健体育課） ・運動部活動指導員派遣事業（保健体育課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村立中学校では、市町村教育委員会が策定する「運動部活動の方針」に則り、「部活動の活動方針」を策定し、その活動方針に沿った運営をしている中学校の割合 100% ・県立学校では、県が策定した「運動部活動ガイドライン」に則り、「部活動の活動方針」を策定し、その活動方針に沿った運営をしている学校の割合 100% 	<p>ア 外部指導者等の招へい</p> <p>①運動部活動サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣校（5/18 現在） ・高校 16 校（38 部 38 名） ・中学 29 校（55 部 55 名） <p>②運動部活動指導員派遣事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣校内定（5/18 現在） ・高校 11 校（11 部 11 名） ・特別支援学校 1 校（1 部 1 名） ・中学校 4 校（6 部 6 名）

対策 の 概要	地域の実情や多様なニーズに応じたスポーツ環境の充実に向けて、地域スポーツハブ等が核となっていく取組を支援するとともに、多様なスポーツ活動への参加機会の拡充を図ります。また、運動遊びコーディネーターを養成するための研修会や「幼児期運動指針」に沿った理論と実技を学ぶことができる研修会の開催など、運動遊びの指導ができる人材の育成に取り組みます。
------------------------	--

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル園において、「幼児期運動指針」の趣旨を生かした取組が実践される。 ※指導主事等の訪問により、指導者の指導方法の変容を観察する。 運動遊びコーディネーター研修会の参加者 50 名以上。 ※H30.8 月に集計 <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 講師依頼作成・県内の幼稚園・保育所、認定こども園において、国が作成した「幼児期運動指針」に基づく運動遊び指導の在り方の周知が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定園による「幼児期運動指針」に基づく運動遊びの取組を進める。 市町村の担当課に対し、運動遊びコーディネーター研修会の教員・保育士の参加を促す。 運動遊びの過程への啓発に向けた、親子で楽しむ運動遊びの実施。
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 4） ※H30.7 月に確認 促進委員会の開催（全 5 回予定） ※H30.9 月に中間確認、H31.3 月に最終確認 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 核となる総合型地域スポーツクラブや市町村の関係者には、地域スポーツハブの設置・展開について概ね理解が得られている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツコーディネーターの配置など、早期に地域スポーツハブの展開に係る環境づくりを進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 促進委員会を開催するため、地域スポーツコーディネーターの確保や促進委員会の構成メンバーの確定、構成メンバーへの説明などを実施。 地域スポーツハブの立ち上げ 促進委員会の開催 地域のニーズに応じたスポーツ活動の実施
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市町村立中学校では、市町村教育委員会が策定する「運動部活動の方針」に則り、「部活動の活動方針」を策定し、その活動方針に沿った運営をしている中学校の割合 100% 県立学校では、県が策定した「運動部活動ガイドライン」に則り、「部活動の活動方針」を策定し、その活動方針に沿った運営をしている学校の割合 100% ※市町村立中学校・県立中学校においては、H30.8 月に調査予定。 ※H31.1 月に調査予定（県立学校の方針は、今後開催される「運動部活動改革指針委員会」において協議され、10 月を目途に示す予定） <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に比べると支援員の派遣数（派遣部数）は、現時点では減少しているが、新規として 15 の部活動に支援員が配置された。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 人材の不足 中学校では、国の制度設計が明確になるまでに時間を要したことや市町村における「部活動の運営方針」の策定に時間を要したことなどから、運動部活動指導員の市町村への配置が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 県広報紙やホームページを活用し人材の募集（部活動指導及び医科学サポーター）を行うとともに、引き続き、総合型地域スポーツクラブや競技団体へも協力を要請し、人材確保に努める。 運動部活動指導員の配置する市町村や学校から取組状況の聞き取りを行い、次年度の配置に向けて、他の市町村への情報提供に努める。 県立学校における運動部活動については「高知県運動部活動改革推進委員会」において協議し、10 月を目途に一定の方向性を示す。

P 対策に位置付けた主な取組

D これまでの取組状況

<p>【取組④】</p> <p>「高知龍馬マラソン」、「県民スポーツフェスティバル」、「レクリエーション大会」など、県民の誰もが参加しやすいスポーツイベントを開催することを通じて、スポーツ活動への参加機会を提供します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬マラソン（スポーツ課） ・県民スポーツフェスティバル（スポーツ課） ・全国レクリエーション大会（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬マラソン：1万人規模の大会継続 ・県民スポーツフェスティバルへの参加者数（H29年度比5%増） ・全国レクリエーション大会参加者数：5,000人以上 	<p>ア スポーツイベントの開催</p> <p>①高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンラン種目に関する協議（4月～） ・他県大会の聞き取り調査（4月～） ・関係機関等との調整 <ul style="list-style-type: none"> 高知県社会福祉協議会（4/9） 帯屋町商店街（5/16） 県警（5/18） <p>②県民スポーツフェスティバル2018</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークゴルフ実施に向けた関係者打合せ（4/13） ・担当者会（4/24） ・大会後援申請（5/1） ・大会冊子の発注（5/16） <p>③第72回全国レクリエーション大会 in 高知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会総会の開催（4/11） ・専門部会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 特別行事部会、式典部会（5/14） 研究フォーラム部会、総務・企画部会（5/15）
<p>【取組⑤】</p> <p>県老人クラブ連合会が開催する「ろうれんピック」及び高知県社会福祉協議会が開催する「こうちシニアスポーツ交流大会」、「ねんりんピック」への選手派遣の支援を通し、高齢者の健康と生きがいづくりの推進を図ります。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県老人クラブ連合会活動促進事業（高齢者福祉課） ・高齢者の生きがいと健康づくり事業（高齢者福祉課） 	<p>ア 大会の開催及び選手派遣</p> <p>①こうちシニアスポーツ交流大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合開会式（5/10） ・種目別競技会（19種目）の開催（H30.5.25時点）

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
1週間の層運動時間が60分未満の児童生徒の割合	小学5年男子：7.3% (6.3%) 小学5年女子：12.7% (11.6%) 中学2年男子：9.7% (6.0%) 中学2年女子：22.4% (19.1%) ※ () は全国平均		全国平均値
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する男性（20代・30代・40代）の割合	38.3% (H28)		45%以上
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する女性（20代・30代・40代）の割合	27.5% (H28)		32%以上
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する男性（50代・60代）の割合	46.8% (H28)		55%以上
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する女性（50代・60代）の割合	49.9% (H28)		60%以上
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する男性（70代）の割合	58.2% (H28)		69%以上
成人の週1回以上運動・スポーツを実施する女性（70代）の割合	51.2% (H28)		60%以上
高知県障害者スポーツ大会への参加者数	1,471人		1,600人以上

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬マラソン：1万人規模の大会継続 <ul style="list-style-type: none"> ※H30.10月に応募人数集計、H31.2月に参加人数集計 ・県民スポーツフェスティバルへの参加者数（H29年度比5%増） <ul style="list-style-type: none"> ※H30.11月に申込み人数集計、H30.12月に参加者数集計 ・全国レクリエーション大会参加者数：5,000人以上 <ul style="list-style-type: none"> ※H30.9月に集計 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各々の大会の開催に向けて関係者との調整・協議が順調に進んでいる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ①高知龍馬マラソンの開催 <ul style="list-style-type: none"> 魅力ある大会づくり <ul style="list-style-type: none"> ・ファンラン開催に向けた関係機関との協議（交通規制や警備計画等） ②県民スポーツフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> ・参加者拡大に向けた広報の工夫 ・総合型地域スポーツクラブとの連携 ③第72回全国レクリエーション大会 in 高知 <ul style="list-style-type: none"> ・大会の効果的な周知 	<ul style="list-style-type: none"> ①高知龍馬マラソンの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ファンラン開催に向けた関係機関との協議 ②県民スポーツフェスティバル <ul style="list-style-type: none"> ・県民スポーツフェスティバルHPから各競技団体HPへのリンク作成。 ③第72回全国レクリエーション大会 in 高知 <ul style="list-style-type: none"> ・大会パンフレットの配布（6月下旬～） ・ホームページの更新 ・マスメディアを活用したPR ・ポスターの作成・配布（6月～） ・大会の開催（9/21～9/23）
<p><成果></p> <p>-</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未実施の種目もある状況だが、既に実施した18種目については、昨年並みの参加者数であった。さらなる増加をはかるため、広報活動の強化など認知度を高めていく取組が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会への参加者数が伸び悩みまたは減少傾向にあることから、生きがいや健康づくりに資する活動についてより広く認知してもらえよう、関係団体の取り組みを支援していく。 ①こうちシニアスポーツ交流大会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・大会の開催（総合開会式（5/10） 種目別競技会（20種目）の開催（4月～6月） ・実行委員会の開催（2月） ②ねんりんピックへの選手派遣支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ねんりんピック富山2018：開催期間（11/3～6） 総合開会式（11/3）/競技会（11/4～6） ③ろうれんピック開催支援（県老人クラブ連合会への補助金交付） <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 <ul style="list-style-type: none"> 東部会場（芸西村）10/24 中部会場（高知市）10/11 西部会場（黒潮町）11/15

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 1- (3) 障害者のスポーツ参加機会の拡充

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】 県障害者スポーツセンターが、スポーツ推進委員をはじめとする各地域のスポーツ関係者や地域スポーツハブと連携する取組を支援し、地域における障害者のスポーツ活動を支援する体制づくりを促進します。</p> <p><具体的な事業> ・障害者スポーツ推進プロジェクト（スポーツ課） ・障害者スポーツ競技力向上支援事業（スポーツ課）</p> <p><取組の KPI> ・県障害者スポーツセンター利用者数が全年度比で 5%増加する。</p>	<p>ア 障害者のスポーツ活動を支援する体制づくり</p> <p>①障害者スポーツ推進プロジェクト（4 団体で実施） ○特定非営利活動法人総合クラブとさ（再委託団体③） ・対象学校である日高養護学校（管理職、体育主任等）、総合クラブとさ（クラブマネージャー）、県スポーツ課（担当者）の 3 者での打合せを実施（5/17）</p> <p>②障害者スポーツ競技力向上支援事業 ・コーディネーターの配置（5/1） ①障害者スポーツの活動状況の把握（選手・指導者・活動実績のリスト化） ・特別強化指定選手へのヒアリング（全 7 名中 5 名実施） ②障害者スポーツへの参加拡大（選手・指導者・サポーター） ・各特別支援学校校長への協力依頼（全 9 校中 5 校実施）</p>
<p>【取組②】 地域や学校におけるオリンピック・パラリンピック教育を強く推進し、障害者スポーツ等の理解や共生社会の実現に向けた学習機会の充実を図ります。</p> <p><具体的な事業> ・オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（保健体育課）</p> <p><取組の KPI> ・県内の公立小中学校でのオリンピック・パラリンピック教育を実施した割合が 70%</p>	<p>ア オリンピック・パラリンピック教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国との委託契約完了。オリンピック・パラリンピック教育推進事業に係る開催要項作成。 ・トップアスリート夢先生派遣事業：日本サッカー協会との業務契約締結済。 <p>【事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック教育研修会の実施（年間 1 回） ・あすチャレ！ School in KOCHI の実施（派遣数 7 校） ・ゆめチャレ！ School in KOCHI の実施（派遣数 2 校） ・パラスポ体験教室の実施（派遣数 10 校） ・障がい者スポーツ選手による記念講演会の実施（派遣数 10 校） ・トップアスリート夢先生派遣事業の実施（30 校） ・宿毛市（教育推進地域）によるオリパラ教育の実践 ・オリンピックパラリンピック教育実施要項を作成し県内の公立学校に配布済。（保健体育課ホームページに掲載）
<p>【取組③】 障害者が身近な地域で日常的にスポーツ活動に参加しやすい環境を整備するため、地域スポーツハブ等が、市町村、学校、競技団体、福祉関係者などと連携する取組を支援します。</p> <p><具体的な事業> ・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課）</p> <p><取組の KPI> ・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標 4） ・促進委員会の開催（全 5 回予定） ※設置後に促進委員会にて地域のスポーツ資源やニーズについて情報共有を行い、各ハブで取組決定→KPI に反映</p>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <p>①説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市（2/26、3/12、4/10、5/16） ・南国市（2/16、3/12、4/4） ・土佐清水市（2/28、3/12、4/16） ・四万十町（2/28、3/12、4/12、5/9） ・合同説明会（5/21） <p>②地域スポーツコーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市（総合クラブとさ）（4/1） →促進委員会設置に向けた調整（県体協）（5/16）

**対策
の
概要**

県障害者スポーツセンターや地域スポーツハブ等が核となって、学校、競技団体、福祉関係者などが連携する仕組みづくりを行うことにより、地域で障害者が安心してスポーツ活動に参加できる環境を創出し、障害者のスポーツ参加の増加を目指します。

また、障害者をはじめ配慮が必要な多様な人々が、スポーツを通じて社会参画できるよう、障害者スポーツの理解啓発や、障害の有無に関わらず誰もが一緒に活動することができる機会の拡充などを通じて、共生社会の実現を目指します。

C 取組の成果・課題・留意点
A 第2四半期以降の取組

<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県障害者スポーツセンター利用者数が全年度比で5%増加する。 ※H30.9月に中間確認、H31.3月に最終確認 <p><成果></p> <p>①障害者スポーツ推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施4団体で概ね計画通りに準備が進んでいる。 <p>②障害者スポーツ競技力向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 実態把握において、対象の選手や団体には事業の趣旨を理解いただき協力を得ている。 <p><課題></p> <p>①障害者スポーツ推進プロジェクト（4団体で実施） ※スポーツ庁委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル事業として成果を広く普及できるよう内容の充実を図る必要がある <p>②障害者スポーツ競技力向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者スポーツをサポートする人材の確保 	<p>①障害者スポーツ推進プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施団体には、これまでの課題を解決するための対策やモデル事業としての視点を明確にして事業に取り組むことを徹底する ○各団体による事業展開（8月～12月） <p>②障害者スポーツ競技力向上支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害者スポーツ競技力向上支援事業コーディネーターにより、指導者の発掘・確保を行う 障害者へのスポーツ医科学面からのサポート（専門体力測定等）について、日本スポーツ振興センターの協力を得て、アドバイザーの派遣やサポートに関する助言により、質の高いサポートを展開する
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内の公立小中学校でのオリンピック・パラリンピック教育を実施した割合が70% ※H30.8月に調査し集計後分析 <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 講師となる人材の不足。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本体育大学、日本財団パラリンピックサポートセンター、高知県障害者スポーツセンター、県内の総合型地域スポーツクラブ等と連携した取組を進める。
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域スポーツハブ」設置数（設置目標4） ※H30.7月に確認 促進委員会の開催（全5回予定） ※H30.9月に中間確認、H31.3月に最終確認 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 核となる総合型地域スポーツクラブや市町の関係者には、地域スポーツハブの設置・展開について概ね理解が得られている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツコーディネーターの配置など、早期に地域スポーツハブの展開に係る環境づくりを進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 促進委員会を開催するため、地域スポーツコーディネーターの確保や促進委員会の構成メンバーの確定、構成メンバーへの説明などを実施。 地域スポーツハブの立ち上げ 促進委員会の開催 地域のニーズに応じたスポーツ活動の実施

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組④】 障害者のスポーツ活動を支援する指導者やボランティアを育成します。</p> <p><具体的な事業> ・障害者スポーツ指導員養成事業（スポーツ課） ・障害者スポーツ指導員養成講習会派遣事業（スポーツ課）</p> <p><取組の KPI> ・障害者スポーツ指導員の増加 （218名→230名）</p>	<p>ア 指導者等の育成 ・高知県障害者スポーツ指導者協議会との委託契約の締結（5/10）</p>
<p>【取組⑤】 県内トップ選手の活動をさらに充実させるための経費面の支援を行うとともに、県競技団体が中央競技団体と連携し、計画的・戦略的にトップ選手の育成・強化を行う一貫指導体制の整備を支援します。</p> <p><具体的な事業> ・競技スポーツ選手育成強化事業〔特別強化選手支援〕（スポーツ課）</p> <p><取組の KPI> ・特別強化選手の各カテゴリーの指定選手数 （S 指定：10名、A 指定：25名、B 指定：55名）</p>	<p>ア トップ選手の育成・強化 ・活動費の交付（4月～）</p> <p>* S 指定 8名 （水泳（飛込）、レスリング、フェンシング、ウイリアムズラグビー、テニス陸上、パラバドミントン）</p> <p>* A 指定 23名 （水泳（競泳）、陸上競技、卓球、剣道、クレー射撃、レスリング、ゴルフ、ソフトボール、パラ射撃、パラカヌー）</p> <p>* B 指定 50名 （水泳（競泳・飛込・アーティスティックスイミング）、陸上競技、ホッケー、バスケットボール、卓球、柔道、レスリング、ゴルフ、ソフトボール、パラカー、車いすバスケットボール）</p>

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

対策4-2(3)の指標	H29	H30	H31 目標値
障害者がスポーツ参加しやすい仕組みを構築している総合型地域スポーツクラブ等の数	2団体		4団体

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者スポーツ指導員の増加 (218名→230名) ※H30.9月に確認 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 7月～12月に実施する指導員養成講習会への派遣及び講習会の開催に向けて準備が進んでいる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 受講者の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 競技団体関係者が集まる県体育協会の各種会議などの機会を捉えて、競技団体関係者に障害者スポーツ指導員養成講習会を周知する。 中級障害者スポーツ指導員養成講習会への派遣 (7月頃) 上級障害者スポーツ指導員養成講習会への派遣 (8月頃) 初級障害者スポーツ指導員養成講習会の実施 (12月頃)
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別強化選手の各カテゴリーの指定選手数 (S指定: 10名、A指定: 25名、B指定: 55名) ※H31.2月に確認 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 競技スポーツ選手育成強化事業の取組により、特別強化選手の中で、全国大会入賞や世界大会出場・優勝などの成果が出ている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の選手や競技団体の実情に応じた支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 選手及び関係者への活動状況・実態の把握 (6月～8月)

基本方向 10	スポーツの振興を図る
対策 1- (4)	中山間地域におけるスポーツ活動の充実

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>市町村のスポーツ関係者等が市町村の枠を越えて連携・協働する「広域エリアネットワーク」により、市町村単独では解決できない課題を解決する取組や集落活動センターにおけるスポーツ活動を支援します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域エリアネットワーク促進事業（スポーツ課） ・集落活動センター推進事業（中山間地域対策課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域エリアネットワークで開催したスポーツイベントへの参加者数（H29 年度比 5%増） ・広域エリアネットワークで開催したスポーツイベントへの、開催市町村以外からの参加者数（H29 年度比 5%増） 	<p>ア エリアごとの取組の推進</p> <p>①物部川・嶺北地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアネットワーク会議（4/27） <p>②高岡・吾川地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回エリアネットワーク会議に向けた打合せ会議（5/9） ・H30 年度事業「ソフトボール教室」事業日程等調整会議（5/12） ・エリアネットワーク会議（5/24） <p>③幡多地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアネットワーク会議【計画：6月中旬】 <p>イ 集落活動センター等で行う健康づくり活動や運動会等、スポーツ活動に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センター推進事業費補助金等による支援 集落活動センター下川口家（4/29 運動会実施） 集落活動センターしらいし（5/20 運動会実施）
<p>【取組②】</p> <p>地域の実情に応じたスポーツ機会が拡充するよう、県体育協会が行う既存の総合型地域スポーツクラブの質的向上の取組を支援します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツコーディネーター養成塾（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アシスタントマネージャー資格新規取得（4 人） ・コーディネーター養成塾への延べ参加者数（120 人） 	<p>ア 地域のスポーツ活動を支える人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師との調整（4月～）

2 第 2 期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
広域エリアネットワーク事業で開催したスポーツイベントでの参加者数			平成 29 年度比で 10%増

対策
の
概要

市町村の枠を越えたスポーツ関係者等のネットワーク化を促進し、中山間地域で行うことができるスポーツ機会の充実を図ります。

C 取組の成果・課題・留意点

A 第2四半期以降の取組

【KPI の状況】

- ・広域エリアネットワークで開催したスポーツイベントへの参加者数（H29 年度比 5%増）
※H30.9 月に中間確認、H31.3 月に最終確認
- ・広域エリアネットワークで開催したスポーツイベントへの、開催市町村以外からの参加者数（H29 年度比 5%増）
※H30.9 月に中間確認、H31.3 月に最終確認

<成果>

ア エリアごとの取組の推進

- ・物部川・嶺北地区及び高岡・吾川地区については、今年度の取組がスタートし、今年度の事業計画が確認された。

<課題>

ア エリアごとの取組の推進

- ①物部川・嶺北地区
 - ・事業参加市町村の減（土佐町：予算が確保できなかったことによる）
- ②高岡・吾川地区
 - ・エリアネットワーク事業の磨き上げ
- ③幡多地区
 - ・H30 年度取組内容の精査

- イ 集落活動センター等で行う健康づくり活動や運動会等、スポーツ活動に対する支援
・集落活動センター推進事業費補助金等による支援

ア エリアごとの取組の推進

- ・各エリアの課題について、関係者が共通認識を持ち、解決に向けて PDCA サイクルを徹底するよう促す。

<物部川・嶺北地区>

- ・事業実施（7月～）
- ・エリア会議（9月、2月）

<高岡・吾川地区>

- ・事業実施（7月～）
- ・エリア会議（10月、1月、2月）

<幡多地区>

- ・幡多エリア総会（6/8）

- イ 集落活動センター等で行う健康づくり活動や運動会等、スポーツ活動に対する支援
・集落活動センター推進事業費補助金等による支援

【KPI の状況】

- ・アシスタントマネージャー資格新規取得（4人）
※H30.10 月に確認
- ・コーディネーター養成塾への延べ参加者数（120人）
※H30.9 月に中間確認、H31.3 月に最終確認

<成果>

- ・今年度から県体育協会に配置されたクラブアドバイザーと連携し、総合型地域スポーツクラブのクラブマネージャー育成に向けた研修会の具体的な準備が進んでいる。

<課題>

- ・参加者の確保

- ・日程、内容を早期に決定し、6月中旬までに参加者の募集を行う。

日程	テーマ
第1回（7/21）	総論
第2回（8/18）	アシスタントマネージャー基礎Ⅰ
第3回（9/1）	アシスタントマネージャー基礎Ⅱ
第4回（9月）	調整中
第5回（10/13）	NPO法人事務（法改正、会計）
第6回（12/1）	NPO法人事務（税務）
第7回（1月）	NPO法人事務（法務・労働基礎）
第8回（2月）	ファンドレイジング（資金調達）

基本方向 10	スポーツの振興を図る
対策 1- (5)	多様なスポーツ機会の提供

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>サイクリングや登山、カヌーなど本県の自然環境を生かしたスポーツアクティビティの活性化に向けて、インフルエンサーからのアドバイスなどを環境整備や効果的なプロモーションに生かし取組を進めます。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進（スポーツ課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数）1,500人（5大会） ・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500人 	<p>ア サイクリング</p> <p>①「ぐるっと高知サイクリングロード」環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングコース環境整備に向けた道路課との協議（随時） <p>②サイクリング観光のプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行会社及びインフルエンサーの招へいに向けた協議（タイ） ・SNSやパンフレットを活用したPR活動（随時） <p>⑤県境をまたぐサイクリングの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十・南予横断2リバービューライド担当委会（5/10） ・四国4県連携イベント担当委会（4/20） <p>イ サーフィン</p> <p>①サーフィン高知県知事杯担当委会（5/11）</p>
<p>【取組②】</p> <p>国内外で開催されるサイクリングイベントへの出展やサイクリング関連雑誌等での紹介などにより、県推奨のサイクリングコース（「ぐるっと高知サイクリングロード」）のプロモーション強化を行うとともに、四国一周サイクリングルートのプロモーションの実施や、県域を跨ぐサイクリングイベント等を開催します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進（スポーツ課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数）1,500人（5大会） ・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500人 	<p>ア サイクリング</p> <p>①「ぐるっと高知サイクリングロード」環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングコース環境整備に向けた道路課との協議（随時） <p>②サイクリング観光のプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行会社及びインフルエンサーの招へいに向けた協議（タイ） ・SNSやパンフレットを活用したPR活動（随時） <p>⑤県境をまたぐサイクリングの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十・南予横断2リバービューライド担当委会（5/10） ・四国4県連携イベント担当委会（4/20）
<p>【取組③】</p> <p>平成30年度に本県で開催する全国レクリエーション大会をはじめ、大規模大会の誘致や新たなスポーツ大会、イベントの開催を支援します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国レクリエーション大会（スポーツ課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国レクリエーション大会参加者数：5,000人以上 	<p>ア 第72回全国レクリエーション大会 in 高知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会総会の開催（4/11） ・専門部会の開催 <li style="padding-left: 20px;">特別行事部会、式典部会の開催（5/14） <li style="padding-left: 20px;">研究フォーラム部会、総務・企画部会（5/15）

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
新たなスポーツ大会やイベントの数（高知県観光コンベンション協会の助成金を活用して開催した新たなスポーツ大会やイベント）	1		6

**対策
の
概要**

本県の豊かな自然環境を生かしたスポーツ活動を推進するとともに、全国規模の大会の誘致や新たなスポーツ大会の開催を支援することにより、県内の地域間交流の活性化や県外・国外からの参加による交流人口の拡大を図ります。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然を生かしたイベントによる新規入込者数(新規イベント数) 1,500人(5大会) ※H30.12月に集計 サイクリングイベントの県外参加者数 1,500人 ※H30.12月に集計 <p><成果></p> <p>—</p> <p><課題></p> <p>ア サイクリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自転車活用推進法に基づく、国土交通省のガイドラインが未設定のため、整備が遅れる可能性がある。 ②出展イベントの選定が必要(効果の大きいイベントの調査) ③参加者増に向けた大会の磨き上げが必要 ④集客増につながる取組の検討が必要(効率の良い集客方法等) ⑤4県連携事業の協議が必要(開催方法などで課題がある) <p>イ サーフィン</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サーフィン高知県知事杯のPR強化が必要(ギャラリーなど) 	<p>ア サイクリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路課と連携したコース環境の整備 ②インフルエンサーを活用したPR活動(招請、動画UP等) ③各イベント開催に向けた関係者との協議 ④イベントの開催 ⑤4県連携サイクリングイベントの検討(サイクリングアイランド四国) <p>イ サーフィン</p> <ul style="list-style-type: none"> ①担当者会の開催 ②サーフィン知事杯の開催
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然を生かしたイベントによる新規入込者数(新規イベント数) 1,500人(5大会) ※H30.12月に集計 サイクリングイベントの県外参加者数 1,500人 ※H30.12月に集計 <p><成果></p> <p>—</p> <p><課題></p> <p>ア サイクリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自転車活用推進法に基づく、国土交通省のガイドラインが未設定のため、整備が遅れる可能性がある。 ②出展イベントの選定が必要(効果の大きいイベントの調査) ③参加者増に向けた大会の磨き上げが必要 ④集客増につながる取り組みの検討が必要(効率の良い集客方法等) ⑤4県連携事業の協議が必要(開催方法などで課題がある) 	<p>ア サイクリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路課と連携したコース環境の整備 ②インフルエンサーを活用したPR活動(招請、動画UP等) ③各イベント開催に向けた関係者との協議 ④イベントの開催 ⑤4県連携サイクリングイベントの検討(サイクリングアイランド四国)
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国レクリエーション大会参加者数：5,000人以上 ※H30.9月に集計 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 大会の開催に向けて関係者との調整・協議が順調に進んでいる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 大会の効果的な周知 	<ul style="list-style-type: none"> 大会パンフレットの配布(6月下旬～) ホームページの更新 マスメディアを活用したPR ポスターの作成・配布(6月～) 大会の開催(9/21～9/23)

基本方向 10	スポーツの振興を図る
対策 1- (6)	スポーツを通じた健康増進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>高知家健康パスポート事業の啓発を行い、総合型地域スポーツクラブ等運動施設の利用やスポーツイベントへの参加等による健康づくりを推進します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知家健康パスポート事業（健康長寿政策課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知家健康パスポート I 取得者数 ・総合型地域スポーツクラブの健康パスポート事業参加率 ・ヘルシーポイントが付与された主要なスポーツイベントの数 	<p>ア 健康パスポート事業を活用した総合型地域スポーツクラブの利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の取組状況の把握（H30.3） ・さん SUN 高知 4月号や PRパンフレット、市町村広報誌による広報の実施 <p>イ 主要なスポーツイベントでのヘルシーポイント付与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村説明会の実施、協力依頼（H30.2）
<p>【取組②】</p> <p>住民の運動習慣定着への機会の拡大を図るため、市町村や事業所、関係機関等と連携し、高知家健康パスポート事業を活用した運動イベントの実施を促進します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知家健康パスポート事業（健康長寿政策課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康パスポートを活用したインセンティブ事業（運動）の実施市町村数 ・高知県ワークライフバランス推進企業認証制度「健康経営部門」の認証企業数（認証には健康パスポートの活用その他、健康宣言や受動喫煙対策の取組が必須） 	<p>ア 健康パスポートを活用したインセンティブ事業(運動)を実施する市町村への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PRパンフレットへの掲載など広報の実施 <p>イ 健康経営に取り組む事業所への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県ワークライフバランス推進企業認証制度「健康経営部門」開始（H30.4～） ・関係機関（協会けんぽ、協定締結損保会社）との調整 ・業界団体の研修会や企業への個別訪問による周知・申請への働きかけ
<p>【取組③】</p> <p>健康づくりにおける運動の効果や重要性について、出前講座の実施や健康づくりひとくちメモ等、マスメディアも活用することで広く啓発を行います。また、手軽な運動として、引き続きウォーキングの普及に取り組みます。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きざかりの総合啓発（健康長寿政策課） ・健康づくりひとくちメモ（健康長寿政策課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座（運動編）実施回数 ・健康づくりひとくちメモ（運動編）テレビ放送回数 	<p>ア 働きざかりへの総合啓発の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県政出前講座の PR（広報広聴課） ・健康づくりひとくちメモの活用 <p>イ 健康パスポートアプリの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々のウォーキングや血圧測定でヘルシーポイントが貯まるアプリの開発に着手

**対策
の
概要**

成人の身体活動の増加と運動習慣の更なる定着を図ります。

C 取組の成果・課題・留意点
A 第2四半期以降の取組

<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知家健康パスポート I 取得者数 26,001 名 (H30.5.25 時点) ・総合型地域スポーツクラブの健康パスポート事業参加率 55% (16 クラブ) ・主要なスポーツイベントでのヘルシーポイント付与 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会 3 (四万十川桜マラソン、宿毛マラソン、大方シーサイドはだしマラソン) <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康パスポートの取得者数は、目標を上回るペースで増加しており、健康づくりに取り組む県民の増加につながっている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村等のスポーツ行政担当等に健康政策の取組が浸透していない。 ・総合型地域スポーツクラブの一部では、運営体制が脆弱なため健康政策との連携には積極的でないクラブがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合型地域スポーツクラブ等に対し、高知家健康パスポート事業参加協力の依頼を行う。(H30.7~) ・9月から実施予定の健康マイスター制度、アプリの運用等に係る市町村説明会を開催する。(H30.8)
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康パスポートを活用したインセンティブ事業(運動)の実施市町村数 23 市町村(予定) ・高知県ワークライフバランス推進企業認証制度「健康経営部門」の認証企業数 0 (H30.5.25 時点) <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30 から健康パスポートを活用したインセンティブ事業が全市町村で実施され、県民の健康的な生活習慣定着への機会拡大につながっている。 ・人材不足等企業側のニーズもあり、業界団体等を通じて健康経営に取り組む必要性を働きかけることで、企業側の健康経営に対する意識が向上している。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康パスポート取得者数は、目標を上回るペースで増加しているが、健康行動を継続・定着させるための仕組みが不十分 ・健康パスポートを活用したインセンティブ事業で、運動習慣定着の内容が含まれていない市町村がある。 ・取得機会に男女差はないものの、男性の取得が女性に比べて少ない(男女比はおおよそ 1:2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康マイスター制度の開始 (H30.9) ・健康パスポートを活用したインセンティブ事業(運動)未実施の市町村に対し、実施できるよう助言を行う。 ・健康経営として、企業における健康パスポートの活用を働きかけ、壮年期男性の取得率向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> →こうち健康企業プロジェクト(高知新聞主催)による「高知家健康経営アワード」の実施 →職場の健康づくり応援研修会を県内 6 会場で開催 (H30.6~8) →アクサ生命(共催:商工会議所)による健康経営セミナーを県内 3 会場で開催 (H30.7~9) →民放 3 局でテレビ CM の放映 (H30.9)
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県政出前講座(運動編): 1 回 <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病を予防し、活動的な生活を送るためには、県民の健康意識の更なる醸成と運動習慣など健康的な保健行動の定着化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の開催や健康づくりひとくちメモの放送を継続する。 ・健康パスポートアプリの運用を開始 (H30.9) するとともに、周知のためのイベント開催やテレビ・ラジオ等メディアを活用した広報を実施する。 ・福祉保健所において、「スポーツ施策&スポーツイベント一覧」リーフレットを県民に配布する。

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組④】</p> <p>スポーツ医学の知見に基づき、地域スポーツハブをはじめ、総合型地域スポーツクラブ、県レクリエーション協会などのスポーツ団体や広く県民に対して、健康づくりにつながる効果的な運動プログラムなどを普及・提供します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ体験等を通じた健康・体力づくり推進事業（スポーツ課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いきいきチャレンジ！延べ参加者数 120 名以上 ・チャレンジ！体力年齢延べ参加者数 100 名以上 	<p>ア ニーズに応じた運動プログラムなどの提供</p> <p>①いきいきチャレンジ！（スポーツ体験事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中高年齢向けスポーツ体験事業 <ul style="list-style-type: none"> ・はじめてのラージボール卓球【計画：6/7、14、28、7/5】 ・ノルディック・ウォーク【計画：11/7、14、21、28】 <p>②一般スポーツ愛好者体力測定（チャレンジ！体力年齢）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般スポーツ愛好者向け体力測定、トレーニングメニューの紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・5/15（1名）
<p>【取組⑤】</p> <p>地域スポーツハブや総合型地域スポーツクラブ等が提供するスポーツ活動が、子どもから高齢者、子育て世代、職場、女性、障害者などの多様なニーズに応じた取組として拡充するよう支援します。【再掲】</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツハブ展開事業（スポーツ課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標4） ・促進委員会の開催（全5回予定） <p>※設置後に促進委員会にて地域のスポーツ資源やニーズについて情報共有を行い、各ハブで取組決定→KPIに反映</p>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <p>①説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市（2/26、3/12、4/10、5/16） ・南国市（2/16、3/12、4/4） ・土佐清水市（2/28、3/12、4/16） ・四万十町（2/28、3/12、4/12、5/9） ・合同説明会（5/21） <p>②地域スポーツコーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市（総合クラブとさ）（4/1） <p>→促進委員会設置に向けた調整（県体協）（5/16）</p>

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
日常生活における歩数の増加	※平成28年 20歳～64歳 男性：6,387歩 女性：6,277歩 65歳以上 男性：4,572歩 女性：4,459歩		20歳～64歳 男性：9,000歩 女性：8,500歩 65歳以上 男性：7,000歩 女性：6,000歩
健康パスポートI取得者数	23,715人 (平成30年2月末)		50,000人 (平成33年末)

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> いきいきチャレンジ！延べ参加者数 120 名以上 ※H30.7月に集計 チャレンジ！体力年齢延べ参加者数 100 名以上 ※H30.9月に中間集計、H31.3月に最終集計 <p><成果></p> <p>-</p> <p><課題></p> <p>①いきいきチャレンジ！（スポーツ体験事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者の増加 <p>②一般スポーツ愛好者体力測定（チャレンジ！体力年齢）</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者の増加 	<p>①いきいきチャレンジ！（スポーツ体験事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県ホームページへの掲載や定期的な事業の周知の徹底 <p>②一般スポーツ愛好者体力測定（チャレンジ！体力年齢）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県ホームページへの掲載や定期的な事業の周知の徹底。 県民スポーツフェスティバルの各競技大会など、県内のスポーツ大会や関連イベントにおいて事業を周知。
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域スポーツハブ」設置数（設置目標4） ※H30.7月に確認 促進委員会の開催（全5回予定） ※H30.9月に中間確認、H31.3月に最終確認 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 核となる総合型地域スポーツクラブや市町の関係者には、地域スポーツハブの設置・展開について概ね理解が得られている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域スポーツコーディネーターの配置など、早期に地域スポーツハブの展開に係る環境づくりを進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 促進委員会を開催するため、地域スポーツコーディネーターの確保や促進委員会の構成メンバーの確定、構成メンバーへの説明などを実施。 地域スポーツハブの立ち上げ 促進委員会の開催 地域のニーズに応じたスポーツ活動の実施

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 1-(7) スポーツに親しむ場の確保

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組

D これまでの取組状況

【取組①】

学校の体育施設の開放を進めるとともに、施設が利用者にとってより利用しやすいものとなるよう、公共施設の開放状況等の情報共有など市町村等と連携して取り組みます。

<具体的な事業>

- ・地域の実情に応じた公共施設の有効利用の促進（保健体育課）

<取組のKPI>

- ・開放している学校の使用施設数及び団体登録数が昨年度を上回る。

ア 公共施設の有効利用の促進

①開放事業

- ・開放している学校数・(市町村数)〈施設数〉：22校(14市町村)〈33施設〉
- ・団体登録数(5/18現在)79団体

【取組②】

スポーツ施設や設備について、市町村や競技団体と連携し、必要な整備を計画的に進めます。

<具体的な事業>

- ・拠点施設の整備（スポーツ課）

<取組のKPI>

- ・スポーツ参加人口の拡大や競技力向上、新たな大会の開催や合宿誘致など、多面的なスポーツ振興につながる整備計画ができています。

ア 拠点施設の整備

- ・エリアの拠点となるスポーツ施設や各競技団体の活動拠点となるスポーツ施設の整備

施設名	整備内容	取り組み状況	所管課
県立青少年センター	陸上競技場の改修	計画どおり	生涯学習課
須崎市海洋スポーツパーク	船庫（既存）・管理研修棟の整備	計画どおり	須崎市（スポーツ課）
	新船庫・トレーニング室の整備	計画どおり	
	カヌーコース（1000m）の整備	計画どおり	
香野総合運動公園	屋内運動場防球ネットの改修	計画どおり	公園下水道課（スポーツ課）
香野総合運動公園	屋内水泳場天井の耐震改修	計画どおり	公園下水道課
香野総合運動公園	野球場の耐震改修	計画どおり	公園下水道課
香野総合運動公園	体育館防災施設照明LED化整備	計画どおり	公園下水道課
香野総合運動公園	屋内運動場防災施設照明LED化整備	計画どおり	公園下水道課
土佐西南大規模公園	テニスコート改修（張芝）	計画どおり	公園下水道課

【取組③】

スポーツ施設だけでなく、例えば、福祉施設や商業施設のオープンスペース、統廃合された学校施設など、スポーツ施設以外の既存施設の有効活用により、スポーツができる場の創出を図ります。

<具体的な事業>

- ・既存施設の有効活用（スポーツ課）

ア 既存施設の有効活用

- ・第1回高知県スポーツ振興県民会議（競技力向上部会）（5/30）
- ・第1回高知県スポーツ振興県民会議（地域スポーツ推進部会）（5/31）

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
身近な地域でスポーツ活動する場が増えている	-	-	-

**対策
の
概要**

既存の施設の有効活用やオープンスペース等のスポーツ施設以外の施設におけるスポーツができる場の創出を図るとともに、誰もが安心して活用できるスポーツ施設や地域の活性化につながるスポーツ施設の整備を図ります。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開放している学校の使用施設数及び団体登録数が昨年度を上回る。 ※新規登録は、市町村から送付される利用団体の申請写しで適宜確認する。 <p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は 29 校 56 施設を開放しているが、利用は 21 校 31 施設に留まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各市町村に現状を知らせ、積極的な活用を促す。
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ参加人口の拡大や競技力向上、新たな大会の開催や合宿誘致など、多面的なスポーツ振興につながる整備計画ができています。 ※H30.9月までに作成予定 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 計画通りに整備が進んでいる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のスポーツ参加人口の拡大や競技力の向上、オリンピック・パラリンピック事前合宿やプロ・アマ合宿の誘致など、新たな整備に向けた関係者との調整・検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備施設の進捗管理
<p><成果></p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 利用可能な施設の把握 	<ul style="list-style-type: none"> 統廃合された学校や民間企業の施設など、スポーツ活動に活用できる施設の把握について検討する。

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 2- (1) 新たなスポーツ推進体制による戦略的な競技力強化

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>各競技ごとに県内の小学生から一般までの有望選手を強化選手に指定し、県外の優秀な指導者を特別強化コーチとして配置して、年間を通じて定期的に質の高い強化練習を行う「全高知チーム」の活動を支援します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツ選手育成強化事業（全高知チームの活動支援）（スポーツ課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全高知チームの数（9団体） 	<p>ア 「全高知チーム」への活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「全高知チーム」の認定（5団体） サッカー・ラグビー・カヌー・剣道（4/11）、水泳飛込（4/26） ②「全高知チーム」の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興監による特別強化コーチとの協議及び「全高知チーム」の視察巡回 カヌー・剣道（5/12）、水泳飛込・ラグビー（5/19）、レスリング（6/2） ・「全高知チーム」特別強化コーチによる強化練習 レスリング 全種別（3/10、11） ソフトボール 全種別（3/11） ラグビー 少年男子（4/14、5/19） 剣道、カヌー 全種別（5/12、13） 水泳飛込 少年女子（5/18～20）
<p>【取組②】</p> <p>子どもたちが、自分の適正に応じたスポーツと出会い、可能性をつなぐ「高知県バスウェイシステム」を推進します。「高知県バスウェイシステム」では、子どもたちが自分にあった競技を見つけることのできる測定会や、県内の優れたジュニア選手が多様な運動プログラムを経験し、運動能力を高めることができる取組、さらに、中央競技団体と連携し、種目変更を含めて競技ごとに有望な選手を発掘する選考会を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツ選手育成強化事業（高知県バスウェイシステム事業）（スポーツ課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチングプログラムへの参加者数（450名） ・高知くろしおキッズ選考会への参加者数（200名） ・チャレンジプロジェクトを実施する競技団体数（9団体） 	<p>ア 高知県バスウェイシステムによる選手の発掘・育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ①マッチングプログラム <ul style="list-style-type: none"> ・地区別公立小・中学校長会での事業説明及び協力要請 （西部：4/19、中部：4/24、東部：4/26）※高知市（6/5） ・（一社）健康ニッポン及び（一社）スポーツ能力発見協会との協議 ②高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア（※タレント発掘事業） ○くろしおキッズ（小学生） 74名（4年生：23名、5年生：31名、6年生：20名） <p>【プログラムメニュー】</p> <p>4月 認定式：新規認定者 4年生：23名（男13名女10名） 5年生：7名（男3名女4名）</p> <p>第1回：コミュニケーション／トレーニング（標的）（4/15） 第2回：陸上、知的プログラム／ビームライフル、ビームピストル／保護者プログラム（4/22）</p> <p>5月 第3回：ダシス／ビームライフル、ビームピストル（5/12） プログラム検討委員会（5/26）</p>

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31目標値
全高知チームの数	2 競技団体		10 競技団体
競技者育成プログラムに基づく育成強化を実践している競技団体数	36 競技団体		40 競技団体

**対策
の
概要**

早い段階から自分にあった競技に出会い、障害の有無に関わらず、誰もがトップ選手を目指すことができる仕組みの構築と、選抜された有望選手が優秀な指導者に日常的に質の高い指導を受けられる環境の充実を図り、裾野の拡大と重点的な競技力の強化が継続的に行われる体制をつくります。

C 取組の成果・課題・留意点

A 第2四半期以降の取組

<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 全高知チーム：既設立7団体 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 特別強化コーチとの協議により、全高知チームの趣旨説明と競技団体の作成した育成プログラム、短期戦略プランとPDCAシートの監修を特別強化コーチに依頼 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> より効果的な取組に向けて、関係者の意識の統一と昨年度作成した各団体の育成・強化計画の見直しが必要。 設立予定の競技団体（9団体）のうち、まだ設立できていない競技団体がある（2団体/陸上・卓球） 	<ul style="list-style-type: none"> 県スポーツ課と県体育協会が該当競技団体の特別強化コーチに県の方針や事業概要、取組の留意事項等について説明し、特別強化コーチの監修により育成・強化計画の修正を依頼。 設立していない団体には早期の設立に向けて、県スポーツ課と県体育協会が該当団体の関係者と設立に向けた協議を行う。 特別強化コーチによる指導（～3月） 県内指導者による合同練習（～3月）
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> マッチングプログラムへの参加者数（450名） ※H30.8月に集計 高知くろしおキッズ選考会への参加者数（200名） ※H30.12月に集計 チャレンジプロジェクトを実施する競技団体数（9団体） ※H30.7月に中間確認、H30.12月に最終確認 <p><成果></p> <p>②高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラム検討委員会の委員から、プログラム実施に係る留意点や評価基準の明確化などについて助言があり、事業の運営に反映できている。 <p><課題></p> <p>①マッチングプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> より多くの参加者の受け入れや参加者へフィードバックする内容の充実。 <p>②高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア（※タレント発掘事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラム内容の充実 	<p>①マッチングプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> 高知市小・中学校長会での事業説明及び協力依頼（6月） プログラム内容や分析・評価等に関して関係団体と協議（6月） マッチングプログラムの開催 東部（8/12：安田町中芸広域体育館）/中部（8/19：いの町県立青少年体育館）、西部（7/29：宿毛市総合運動公園体育館） <p>②高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラム内容の検討委員会の開催（5/26） 育成プログラム（各種トレーニングや競技体験等） 高知くろしおキッズ：30回 / 高知くろしおジュニア：5回 保護者プログラム（保護者に対し栄養、スポーツ障害、サポートの仕方等） くろしおキッズ保護者：7回 / くろしおジュニア保護者：4回 チャレンジプログラム（選考会） 次年度の認定者を選考する測定会（2回） <p>③チャレンジプロジェクト（競技別プログラム）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県体育協会及び実施競技団体との協議（6月～） 選考会の実施（11月～12月頃）

基本方向 10	スポーツの振興を図る
対策 2-(2)	系統立てた育成・強化体制の確立

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>各競技団体ごとに競技者育成プログラムに基づいた育成・強化を推進するとともに、PDCA サイクルにより、競技団体の取組の評価・改善を徹底します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツ選手育成強化事業（育成プログラムによる育成強化）（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技者育成プログラム提出団体 36→46 団体へ 	<p>ア 競技者育成プログラムによる育成強化</p> <p>①競技団体の取組状況を把握</p> <ul style="list-style-type: none"> PDCAシートの確認（4月～） ※提出団体 19 種目（全 46 種目中） <p>③競技者育成プログラムの作成依頼</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技団体担当者への説明会（5/7） ※提出団体 38 種目（全 46 団体中） スポーツ課、県体協の競技担当者が連携し、各競技団体に育成プログラム及び PDCAシートの作成について説明。（5/19・20）
<p>【取組②】</p> <p>子どもたちが、自分の適正に応じたスポーツと出会い、可能性をつなぐ「高知県バスウェイシステム」を推進します。「高知県バスウェイシステム」では、子どもたちが自分にあった競技を見つけることのできる測定会や、県内の優れたジュニア選手が多様な運動プログラムを経験し、運動能力を高めることができる取組、さらに、中央競技団体と連携し、種目変更を含めて競技ごとに有望な選手を発掘する選考会を行います。【再掲】</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツ選手育成強化事業（高知県バスウェイシステム事業）（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチングプログラムへの参加者数（450 名） ・高知くろしおキッズ選考会への参加者数（200 名） ・チャレンジプロジェクトを実施する競技団体数（9 団体） 	<p>ア 高知県バスウェイシステムによる選手の発掘・育成</p> <p>①マッチングプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区別公立小・中学校長会での事業説明及び協力要請（西部：4/19、中部：4/24、東部：4/26）※高知市（6/5） ・（一社）健康ニッポン及び（一社）スポーツ能力発見協会との協議 <p>②高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア（※タレント発掘事業）</p> <p>○くろしおキッズ（小学生）</p> <p>74 名（4年生：23 名、5年生：31 名、6年生：20 名）</p> <p>【プログラムメニュー】</p> <p>4月 認定式：新規認定者 4 年生：23 名（男 13 名 女 10 名） 5 年生：7 名（男 3 名 女 4 名）</p> <p>第 1 回：コミュニケーション／トレーニング（標的）（4/15） 第 2 回：陸上、知的プログラム／ビームライフル、ビームピストル／保護者プログラム（4/22）</p> <p>5月 第 3 回：ダンス／ビームライフル、ビームピストル（5/12） プログラム検討委員会（5/26）</p>
<p>【取組③】</p> <p>ジュニアからの系統立てた指導体制の確立を進めるうえで核となる、高等学校の運動部活動の充実を図るため、県立高等学校の中から運動部活動強化拠点校及び運動部活動強化推進校を指定し、専門的な指導ができる顧問の配置や活動費の支援を行います。</p> <p>また、県内の私立高等学校の中で、近年の競技実績が高い運動部がある学校を強化推進校として指定し、活動費の支援を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部活動強化校支援事業（保健体育課） ・高知県私立高等学校運動部活動強化校支援事業（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・私立高等学校の強化推進校である、明德義塾高校の卓球部（男・女）、相撲部の 3 部活動が全国大会で団体入賞する。 	<p>ア 運動部活動の支援</p> <p>①県立高等学校の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点校（4 校）、推進校（A；4 校 B；8 校）の活動開始 ・新推進校の認定証交付式：（5/2） 推進校 A（高知丸の内高；女子ソフトボール部） 推進校 B（橋原高；硬式野球部、幡多農高；ボート部、馬術部） <p>②私立高等学校の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明德義塾高校へ支援制度の説明（4/23） ・私学管理職研修での支援制度の説明【計画：6/1】

**対策
の
概要**

各競技団体によるジュニアから成人まで系統立てた一貫指導を促進するとともに、各年代に応じた重点的な育成・強化を進め、幅広い年代の競技力向上を図ります。

C 取組の成果・課題・留意点

A 第2四半期以降の取組

<p>【KPIの状況】 ・競技者育成プログラム提出団体 36→39 種目へ (7種目が未提出)</p> <p><成果> ・競技者育成プログラムの作成にあたり、競技団体で見直し・協議を行い、平成 30 年度は 5 種目で更新がされた。</p> <p><課題> ・育成プログラム、PDCAシートが未提出の種目がある。 ・提出済みの団体においては、より効果的な取組を展開するために育成プログラム及び PDCA シートの見直しが必要。</p>	<p>・育成プログラム、PDCAシートが未提出の競技団体に対して、県スポーツ課と県体育協会が連携し、7月末までの提出に向けて作成のサポートを行う。 ・育成プログラム、PDCA シートの修正に関して、他の競技団体の作成資料の提供や中央競技団体の協力依頼などの支援を行う。</p>
<p>【KPIの状況】 ・マッチングプログラムへの参加者数 (450 名) ※H30.8 月に集計 ・高知くろしおキッズ選考会への参加者数 (200 名) ※H30.12 月に集計 ・チャレンジプロジェクトを実施する競技団体数 (9 団体) ※H30.7 月に中間確認、H30.12 月に最終確認</p> <p><成果> ②高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア ・プログラム検討委員会の委員から、プログラム実施に係る留意点や評価基準の明確化などについて助言があり、事業の運営に反映できている。</p> <p><課題> ①マッチングプログラム ・より多くの参加者の受け入れや参加者へフィードバックする内容の充実。 ②高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア (※タレント発掘事業) ・プログラム内容の充実</p>	<p>①マッチングプログラム ・高知市小・中学校長会での事業説明及び協力依頼 (6月) ・プログラム内容や分析・評価等に関して関係団体と協議 (6月) ・マッチングプログラムの開催 東部 (8/12: 安田町中芸広域体育館) / 中部 (8/19: いの町県立青少年体育館)、西部 (7/29: 宿毛市総合運動公園体育館)</p> <p>②高知くろしおキッズ・高知くろしおジュニア ・プログラム内容の検討委員会の開催 (5/26) ・育成プログラム (各種トレーニングや競技体験等) 高知くろしおキッズ: 30 回 / 高知くろしおジュニア: 5 回 ・保護者プログラム (保護者に対し栄養、スポーツ障害、サポートの仕方等) くろしおキッズ保護者: 7 回 / くろしおジュニア保護者: 4 回 ・チャレンジプログラム (選考会)</p> <p>③チャレンジプロジェクト (競技別プログラム) ・県体育協会及び実施競技団体との協議 (6月~) ・選考会の実施 (11月~12月頃)</p>
<p>【KPIの状況】 ・私立高等学校の強化推進校である、明德義塾高校の卓球部 (男・女)、相撲部の 3 部活動が全国大会で団体入賞する。 ※H30.8 月に中間確認、H31.3 月に最終確認</p> <p><成果> ②私立高等学校の強化 ・該当学校の関係者には本事業の趣旨が理解され、支援に向けた手続きが進んでいる。</p> <p><課題> ①県立高等学校の強化 ・各強化校における取組の質的向上</p>	<p>①県立高等学校の強化 ・スポーツ課と連携し、指定校の取組状況を定期的に情報交換を行い、必要に応じて改善を図る</p> <p>②私立高等学校の強化 ・該当学校への支援に関する事務手続きの完了 (6月) ・指定校の取組状況を把握し、必要に応じて改善を求める。(6月~3月)</p>

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組④】</p> <p>県内トップ選手の活動をさらに充実させるための経費面の支援を行うとともに、県競技団体が中央競技団体と連携し、計画的・戦略的にトップ選手の育成・強化を行う一貫指導体制の整備を支援します。【再掲】</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツ選手育成強化事業（特別強化選手支援）（スポーツ課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別強化選手の各カテゴリーの指定選手数（S指定：10名、A指定：25名、B指定：55名） 	<p>ア トップ選手の育成・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動費の交付（4月～） * S指定 8名 （水泳（飛込）、レスリング、フェンシング、ウイリアムズラケット、テニス陸上、パラバドミントン） * A指定 23名 （水泳（競泳）、陸上競技、卓球、剣道、アーチェリー、レスリング、ゴルフ、ソフトボール、パラ射撃、パラクライミング） * B指定 50名 （水泳（競泳・飛込・アスティックスイミング）、陸上競技、ホッケー、バスケットボール、卓球、柔道、レスリング、ゴルフ、ソフトボール、パラカー、車いすバスケットボール）

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31目標値
国民体育大会の入賞競技数	15 競技		17 競技
特別強化選手の数	73 名		85 名
全国中学校体育大会の入賞競技数	6 競技		9 競技
全国高等学校総合体育大会の入賞競技数	6 競技		9 競技
中央競技団体等（障害者スポーツ）に登録されている県内競技者数	192 名		200 名

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別強化選手の各カテゴリーの指定選手数 (S 指定 : 10 名、A 指定 : 25 名、B 指定 : 55 名) ※H31. 2 月に確認 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 競技スポーツ選手育成強化事業の取組により、特別強化選手の中で、全国大会入賞や世界大会出場・優勝などの成果が出ている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 個々の選手や競技団体の実情に応じた支援体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 選手及び関係者への活動状況・実態の把握 (6 月～8 月)

基本方向 10	スポーツの振興を図る
対策 2- (3)	指導者の育成及び受け入れの推進

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>将来、本県のスポーツ界を担う指導者の育成に向け、コーチングに必要な総合的な内容を学ぶことができる研修会を開催します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーチアカデミーの開催（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーチアカデミーの修了者数（25 名） 	<p>ア 指導者の育成</p> <p>①コーチアカデミーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師との日程調整（4月～）
<p>【取組②】</p> <p>「スポーツの楽しさを伝え、様々な動きを取り入れながら、基礎基本を身につけることのできる」指導者、「全国入賞レベルの指導ができる」指導者、「競技団体のマネジメントができる」指導者など、育成する指導者像を明確にし、計画的な指導者の育成を行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーチアカデミーの開催（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーチアカデミーの修了者数（25 名） 	<p>ア 指導者の育成</p> <p>①コーチアカデミーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師との日程調整（4月～）
<p>【取組③】</p> <p>すべてのスポーツ指導者の障害者スポーツに関わる意識が高まるよう、障害者スポーツに関する理解啓発や研修会の充実を図ります。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーチアカデミーの開催（スポーツ課） ・障害者スポーツ指導員養成事業（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コーチアカデミーの修了者数（25 名） ・障害者スポーツ指導員の増加（218 名→230 名） 	<p>ア 指導者の育成</p> <p>①コーチアカデミーの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師との日程調整（4月～） <p>②障害者スポーツ指導員養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県障害者スポーツ指導者協議会との委託契約の締結（5/10）

対策の概要

継続的に質の高い指導が実践されるよう、育成する指導者像を明確にした計画的な指導者育成を進めるとともに、県外や国外の優秀な指導者の招へいや本県への受入れを積極的に進めます。

C 取組の成果・課題・留意点

A 第2四半期以降の取組

【KPIの状況】

- ・コーチアカデミーの修了者数 (25名)
※H30.12月に確認

<成果>

- ・今年度の日程及び講師が確定した。

<課題>

- ・コーチアカデミーに参加できていない競技団体がある
- ・スポーツに関する多様な指導者を計画的に育成するためのプランがまとまっていない

- ・参加者がいない競技団体に再度、参加要講を行う(5月～6月)
- ・県体育協会、県障害者スポーツセンターなどと連携し、7月までに指導者育成計画(案)を取りまとめ、第2回高知県スポーツ振興県民会議で協議する

回	開催月	テーマ
1	9月	スポーツとコミュニケーション
2	9月	新しい時代にふさわしいコーチング
3	10月	7つの習慣
4	10月	スポーツ医学
5	11月	タレント発掘とフィジカルトレーニング
6	11月	女性のスポーツ
7	12月	スポーツを取り巻く環境の変化とコーチの役割
8	12月	障がい者スポーツ

【KPIの状況】

- ・コーチアカデミーの修了者数 (25名)
※H30.12月に確認

<成果>

- ・今年度の日程及び講師が確定した。

<課題>

- ・コーチアカデミーに参加できていない競技団体がある
- ・スポーツに関する多様な指導者を計画的に育成するためのプランがまとまっていない

- ・参加者がいない競技団体に再度、参加要講を行う(5月～6月)
- ・県体育協会、県障害者スポーツセンターなどと連携し、7月までに指導者育成計画(案)を取りまとめ、第2回高知県スポーツ振興県民会議で協議する

回	開催月	テーマ
1	9月	スポーツとコミュニケーション
2	9月	新しい時代にふさわしいコーチング
3	10月	7つの習慣
4	10月	スポーツ医学
5	11月	タレント発掘とフィジカルトレーニング
6	11月	女性のスポーツ
7	12月	スポーツを取り巻く環境の変化とコーチの役割
8	12月	障がい者スポーツ

【KPIの状況】

- ・コーチアカデミーの修了者数 (25名)
※H30.12月に確認
- ・障害者スポーツ指導員の増加 (218名→230名)
※H30.9月に確認

<成果>

- ①コーチアカデミーの開催
 - ・今年度の日程及び講師が確定した。
- ②障害者スポーツ指導員養成事業
 - ・7月～12月に実施する指導員養成講習会への派遣及び講習会の開催に向けて準備が進んでいる。

<課題>

- ①コーチアカデミーの開催
 - ・コーチアカデミーに参加できていない競技団体がある
 - ・スポーツに関する多様な指導者を計画的に育成するためのプランがまとまっていない
- ②障害者スポーツ指導員養成事業
 - ・受講者の増加

①コーチアカデミーの開催

- ・参加者がいない競技団体に再度、参加要講を行う(5月～6月)
- ・県体育協会、県障害者スポーツセンターなどと連携し、7月までに指導者育成計画(案)を取りまとめ、第2回高知県スポーツ振興県民会議で協議する

回	開催月	テーマ
1	9月	スポーツとコミュニケーション
2	9月	新しい時代にふさわしいコーチング
3	10月	7つの習慣
4	10月	スポーツ医学
5	11月	タレント発掘とフィジカルトレーニング
6	11月	女性のスポーツ
7	12月	スポーツを取り巻く環境の変化とコーチの役割
8	12月	障がい者スポーツ

②障害者スポーツ指導員養成事業

- ・競技団体関係者が集まる県体育協会の各種会議などの機会を捉えて、競技団体関係者に障害者スポーツ指導員養成講習会を周知する。
- ・中級障害者スポーツ指導員養成講習会への派遣(7月頃)
- ・上級障害者スポーツ指導員養成講習会への派遣(8月頃)
- ・初級障害者スポーツ指導員養成講習会の実施(12月頃)

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組④】</p> <p>「全高知チーム」の取組や有望選手を発掘する取組などを通して、県外の優秀な指導者に特別強化コーチとして、本県スポーツに関わってもらい機会を増加させるなど、移住を含めて本県への受入れに向けた取組を進めます。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技スポーツ選手育成強化事業（全高知チームの活動支援）（スポーツ課） <p><取組のKPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全高知チームの数（9団体） 	<p>ア 「全高知チーム」への活動支援</p> <p>①「全高知チーム」の認定（5団体） サッカー・ラグビー・カヌー・剣道（4/11）、水泳飛込（4/26）</p> <p>②「全高知チーム」の活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興監による特別強化コーチとの協議及び「全高知チーム」の視察巡回 カヌー・剣道（5/12）、水泳飛込・ラグビー（5/19）、レスリング（6/2） ・「全高知チーム」特別強化コーチによる強化練習 レスリング 全種別（3/10、11） ソフトボール 全種別（3/11） ラグビー 少年男子（4/14、5/19） 剣道、カヌー 全種別（5/12、13） 水泳飛込 少年女子（5/18～20）

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
日本スポーツ協会公認指導者数	1,237名		1,350名
コーチアカデミー修了者数（累積）	35名 (H28)		70名
障害者スポーツ指導員数	初級：133名 中級：69名 上級：16名		初級：140名 中級：72名 上級：18名

C 取組の成果・課題・留意点

A 第2四半期以降の取組

<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全高知チーム：既設立 7 団体 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別強化コーチとの競技により、全高知チームの趣旨説明と競技団体の作成した育成プログラム、短期戦略プランとPDCAシートの監修を特別強化コーチに依頼。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・より効果的な取組に向けて、関係者の意識の統一と昨年度作成した各団体の育成・強化計画の見直しが必要。 ・設立予定の競技団体（9 団体）のうち、まだ設立できていない競技団体がある（2 団体/陸上・卓球） 	<ul style="list-style-type: none"> ・県スポーツ課と県体育協会が該当競技団体の特別強化コーチに県の方針や事業概要、取組の留意事項等について説明し、特別強化コーチの監修により育成・強化計画の修正を依頼。 ・設立していない団体には早期の設立に向けて、県スポーツ課と県体育協会が該当団体の関係者と設立に向けた協議を行う。 ・特別強化コーチによる指導（～3月） ・県内指導者による合同練習（～3月）
---	--

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 2-(4) スポーツ医科学の効果的な活用

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>県下全域において、スポーツ活動を行う者が質の高いスポーツ医科学サポートを受けられるよう、県中央部にスポーツ医科学拠点を整備するとともに、東部と西部におけるスポーツ医科学のサテライト機能の充実を図ります。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ医科学拠点の整備（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度中にスポーツ医科学拠点が整備されている。 	<p>ア 施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者との協議（4月から随時）
<p>【取組②】</p> <p>スポーツ医科学面からのサポートの質的向上を図るため、大学や日本スポーツ振興センターと連携し、スポーツ医科学の専門的な知見を有する人材の活用を積極的に行い、各競技団体や運動部活動、障害者スポーツチームなどのスポーツ現場に対して、データによる動作分析やメンタルトレーニング、専門的な体力測定に基づくトレーニング指導などを広く提供します。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ医科学サポート事業〔競技力向上サポート〕（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックサポートを利用する競技団体、運動部活動の総数が前年度比5%増 	<p>ア スポーツ医科学サポートの実施</p> <p>①トータルサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象団体との打合せ（5月） ・メディカルチェック 第1回メディカルチェック委員会（5/22） ・専門体力測定 明徳義塾高校ゴルフ部 26名（4/21、22） <p>②ベーシックサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門体力測定の実施に関する関係団体等への周知（5/11） <p><周知先団体></p> <ul style="list-style-type: none"> 高知県体育協会加盟競技団体 高知県高等学校体育連盟 県内各高等学校
<p>【取組③】</p> <p>運動部活動や競技ごとの強化事業を通じて、アスレチックトレーナーなどの有資格者からサポートを受けることのできる機会の拡大を図るため、スポーツトレーナーの資格取得につながる県独自の講習会を実施することなどにより、スポーツトレーナーの養成を図ります。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ医科学サポート事業（指導者等育成）（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ医科学コーディネーターの競技団体への配置5競技団体 	<p>ア スポーツ医科学をサポートする人材の育成</p> <p>①スポーツ医科学コーディネーターの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県体育協会との打合せ（5月） <p>②スポーツ医科学サポーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスレチックトレーナー協議会との打合せ（5/17） ・理学療法士協会との打合せ（5月中）

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
スポーツ医科学担当者を配置し、組織的にスポーツ医科学を活用している競技団体の数	-		10 団体以上

対策
の
概要

競技力向上や健康づくりなど様々なスポーツ活動において、スポーツ医学が効果的に活用されるよう、多様な団体や個人に対してスポーツ医学面からのサポートを展開します。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度中にスポーツ医学拠点が整備されている。 <p><成果></p> <p>-</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 整備後の具体的な活用や周知方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点施設整備の進捗管理 スポーツ医学拠点設置後の活用増に向けた検討 実施設計（6月～8月） 工事（9月～2月） 利用開始（3月）
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ベーシックサポートを利用する競技団体、運動部活動の総数が前年度比5%増 ※H31.3月に集計 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> トータルサポートの対象選手及び団体には、事業の理解が得られ、具体的なサポートがスタートしている。 ベーシックサポートの周知がなされ、利用を希望する団体からの問い合わせが増えている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 質の高いサポート実施 スポーツ医学を活用する選手や団体の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 大学や日本スポーツ振興センターの協力を得て、スポーツ医学の専門的な知見を有する方をアドバイザーとして招聘する（年6回） 全ての選手や競技団体が対象となるベーシックサポートの活用について、年間を通して定期的に周知を行う 県体育協会と連携し、スポーツ医学活用の効果があった事例を競技団体関係者が集まる会議等を捉えて積極的に紹介し、理解啓発する
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ医学コーディネーターの競技団体への配置 5 競技団体 ※H30.11月に確認 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ医学サポーターの育成に関しては、関係者から概ね理解が得られている。 <p><課題></p> <p>①スポーツ医学コーディネーターの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ医学コーディネーターを早期に配置し、具体的な取組につなげる必要がある <p>②スポーツ医学サポーター</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ医学サポーターの養成に向けた具体的な取組を早期に進める必要がある 	<p>①スポーツ医学コーディネーターの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 県体育協会と連携し、スポーツ医学コーディネーターの配置について、各競技団体に説明するとともにコーディネーターを対象とした講習会を実施する ○医科学分野活用のための講習会の実施（8月～12月） <p>②スポーツ医学サポーター</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ医学サポーターの養成に向けて、養成講座の実施や養成されたサポーターの活動機会の充実などについて6月中旬までに関係者との協議を進め、具体的な準備につなげる ○スポーツ医学サポーター養成講座の実施（6月～11月頃）

基本方向 10	スポーツの振興を図る
対策 2- (5)	スポーツ施設・設備の整備

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況																																								
<p>【取組①】</p> <p>スポーツ施設や設備について、市町村や競技団体と連携し、必要な整備を計画的に進めます。【再掲】</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設の整備（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ参加人口の拡大や競技力向上、新たな大会の開催や合宿誘致など、多面的なスポーツ振興につながる整備計画ができています。 	<p>ア 拠点施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアの拠点となるスポーツ施設や各競技団体の活動拠点となるスポーツ施設の整備 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #ccc;"> <th style="font-size: small;">施設名</th> <th style="font-size: small;">整備内容</th> <th style="font-size: small;">取り組み状況</th> <th style="font-size: small;">所管課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県立青少年センター</td> <td>陸上競技場の改修</td> <td>計画どおり</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">須崎市海洋スポーツパーク</td> <td>艇庫（既存）・管理研修棟の整備</td> <td>計画どおり</td> <td rowspan="3">須崎市（スポーツ課）</td> </tr> <tr> <td>新艇庫・トレーニング室の整備</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td>カヌーコース（1000m）の整備</td> <td>計画どおり</td> </tr> <tr> <td>香野総合運動公園</td> <td>屋内運動場防球ネットの改修</td> <td>計画どおり</td> <td>公園下水道課（スポーツ課）</td> </tr> <tr> <td>香野総合運動公園</td> <td>屋内水泳場吊天井の耐震改修</td> <td>計画どおり</td> <td>公園下水道課</td> </tr> <tr> <td>香野総合運動公園</td> <td>野球場の耐震改修</td> <td>計画どおり</td> <td>公園下水道課</td> </tr> <tr> <td>香野総合運動公園</td> <td>体育館防災施設照明LED化整備</td> <td>計画どおり</td> <td>公園下水道課</td> </tr> <tr> <td>香野総合運動公園</td> <td>屋内運動場防災施設照明LED化整備</td> <td>計画どおり</td> <td>公園下水道課</td> </tr> <tr> <td>土佐西南大規模公園</td> <td>テニスコート改修（張芝）</td> <td>計画どおり</td> <td>公園下水道課</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	整備内容	取り組み状況	所管課	県立青少年センター	陸上競技場の改修	計画どおり	生涯学習課	須崎市海洋スポーツパーク	艇庫（既存）・管理研修棟の整備	計画どおり	須崎市（スポーツ課）	新艇庫・トレーニング室の整備	計画どおり	カヌーコース（1000m）の整備	計画どおり	香野総合運動公園	屋内運動場防球ネットの改修	計画どおり	公園下水道課（スポーツ課）	香野総合運動公園	屋内水泳場吊天井の耐震改修	計画どおり	公園下水道課	香野総合運動公園	野球場の耐震改修	計画どおり	公園下水道課	香野総合運動公園	体育館防災施設照明LED化整備	計画どおり	公園下水道課	香野総合運動公園	屋内運動場防災施設照明LED化整備	計画どおり	公園下水道課	土佐西南大規模公園	テニスコート改修（張芝）	計画どおり	公園下水道課
施設名	整備内容	取り組み状況	所管課																																						
県立青少年センター	陸上競技場の改修	計画どおり	生涯学習課																																						
須崎市海洋スポーツパーク	艇庫（既存）・管理研修棟の整備	計画どおり	須崎市（スポーツ課）																																						
	新艇庫・トレーニング室の整備	計画どおり																																							
	カヌーコース（1000m）の整備	計画どおり																																							
香野総合運動公園	屋内運動場防球ネットの改修	計画どおり	公園下水道課（スポーツ課）																																						
香野総合運動公園	屋内水泳場吊天井の耐震改修	計画どおり	公園下水道課																																						
香野総合運動公園	野球場の耐震改修	計画どおり	公園下水道課																																						
香野総合運動公園	体育館防災施設照明LED化整備	計画どおり	公園下水道課																																						
香野総合運動公園	屋内運動場防災施設照明LED化整備	計画どおり	公園下水道課																																						
土佐西南大規模公園	テニスコート改修（張芝）	計画どおり	公園下水道課																																						
<p>【取組②】</p> <p>スポーツ医学をサポートする施設や、学校のトレーニング設備など、スポーツ活動をサポートする施設・設備について、必要な整備を計画的に進めます。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ医学拠点の整備（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度中にスポーツ医学拠点が整備されている。 	<p>ア 施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者との協議（4月から随時） 																																								

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
日常的な活動の拠点となる施設がある競技団体が増えている	-	-	-

**対策
の
概要**

競技者がより質の高い活動ができるよう、各競技の拠点となる施設を中心に必要な施設・設備の整備を計画的に進めます。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> スポーツ参加人口の拡大や競技力向上、新たな大会の開催や合宿誘致など、多面的なスポーツ振興につながる整備計画ができています。 ※H30.9月までに作成予定 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> 計画通りに整備が進んでいる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のスポーツ参加人口の拡大や競技力の向上、オリンピック・パラリンピック事前合宿やプロ・アマ合宿の誘致など、新たな整備に向けた関係者との調整・検討が必要。【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> 整備施設の進捗管理
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度中にスポーツ医科学拠点が整備されている。 <p><成果></p> <p>-</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 整備後の具体的な活用や周知方法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点施設整備の進捗管理 スポーツ医科学拠点設置後の活用増に向けた検討 実施設計（6月～8月） 工事（9月～2月） 利用開始（3月）

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 3- (1) スポーツを通じた経済・地域の活性化

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組①】</p> <p>数多くのプロスポーツのキャンプや大会、アマチュアスポーツ合宿を誘致し、県民のスポーツに対する機運の醸成を図るとともに、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげます。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロスポーツの誘致（スポーツ課） ・アマチュアスポーツの誘致（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュアスポーツ合宿による県外宿泊者数（人泊） 50,000 人泊 	<p>ア プロスポーツの誘致</p> <p>①プロ野球球団へのキャンプ誘致・プレシーズンマッチ開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各球団訪問による誘致活動（4/10、11、24、25、26、5/15、16） ・高知県フェアの開催：千葉ロッテ（4/1） <p>②Jリーグチームへのキャンプ誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各チーム訪問による誘致活動（4/21、27） ・高知県フェアの開催：徳島ヴォルティス（4/22）、横浜F・マリノス（5/12） <p>③プロゴルフ大会の継続開催に向けた活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各主催社へ継続開催の協議交渉（5/12） ・ギャラリー数の増加に向けた受入定例会（5/17） <p>イ アマチュアスポーツの誘致</p> <p>①戦略的な誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社との協議（東京：4/2、26、5/11） <p>②新たな合宿誘致や全国規模の大会の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン日本代表合宿（3/30～4/6） ・日本卓球リーグ高知大会 2018（5/30～6/3）
<p>【取組②】</p> <p>新たなターゲットの受入れを実現するため、スポーツ施設の利用状況の把握や、競技の特性を踏まえた対策の検討を行う場を設けるほか、新たなターゲットの受け入れに向けて県競技団体を通じたPRの強化を行い、アマチュアスポーツの誘致を進めます。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュアスポーツの誘致（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュアスポーツ合宿による県外宿泊者数（人泊） 50,000 人泊 	<p>ア アマチュアスポーツの誘致</p> <p>①戦略的な誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社との協議（東京：4/2、26、5/11） <p>②新たな合宿誘致や全国規模の大会の誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントン日本代表合宿（3/30～4/6） ・日本卓球リーグ高知大会 2018（5/30～6/3）
<p>【取組③】</p> <p>サイクリングや登山、カヌーなど本県の自然環境を生かしたスポーツアクティビティの活性化に向けて、インフルエンサーからのアドバイスなどを環境整備や効果的なプロモーションに生かし取組を進めます。【再掲】</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数） 1,500 人（5大会） ・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500 人 	<p>ア サイクリング</p> <p>①「ぐるっと高知サイクリングロード」環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングコース環境整備に向けた道路課との協議（随時） <p>②サイクリング観光のプロモーション強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行会社及びインフルエンサーの招へいに向けた協議（タイ） ・SNS やパンフレットを活用した PR 活動（随時） <p>③県境をまたぐサイクリングの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十・南予横断 2 リバービューライド担当者会（5/10） ・四国 4 県連携イベント担当者会（4/20） <p>イ サーフィン</p> <p>①サーフィン高知県知事杯担当者会（5/11）</p>

**対策
の
概要**

プロやアマチュアスポーツのキャンプや大会・合宿の誘致及び自然環境を生かしたスポーツツーリズムを推進するとともに、地域におけるスポーツサービスの提供を行うことにより、スポーツ産業の創出や若者の定着につなげます。

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュア合宿助成金（前期）の申請宿泊数増（8,180 人泊、対前年度比+513 人泊） ※H31.3 月に集計 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュア合宿助成金（前期）の申請宿泊数増（8,180 人泊、対前年度比+513 人泊） <p><課題></p> <p>ア プロスポーツの誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ①プロ野球球団へのキャンプ誘致・プレシーズンマッチ開催 <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ誘致において、球団からの要望に可能な限り柔軟に対応することが必要 ・プレシーズンマッチは、定期的に球団からアドバイスを受けながら、球団や他県の動きを情報収集し、効果的に参加の要請を行うことが必要 ②Jリーグチームへのキャンプ誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> ・受入対応可能施設が少ないため、新規誘致が難しい状況 ③プロゴルフ大会の継続開催に向けた活動 <ul style="list-style-type: none"> ・大会開催時の集客数拡大に向けた取組の検討が必要 <p>イ アマチュアスポーツの誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ①戦略的な誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪等他都市への訪問協議が必要。 	<p>ア プロスポーツの誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ①プロ野球球団へのキャンプ誘致・プレシーズンマッチ開催 ②Jリーグチームへのキャンプ誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> ・各球団との継続的な協議。 ③プロゴルフ大会の継続開催に向けた活動 <ul style="list-style-type: none"> ・両大会の継続開催に向けた関係者との継続的な協議 <p>イ アマチュアスポーツの誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> ①戦略的な誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> ・県内スポーツ施設の利用状況の把握と誘致ターゲットの選定 ・競技特性を踏まえた効果的な誘致対策の検討 ②新たな合宿誘致や全国規模の大会の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・競技団体との連携強化 ③受入体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村、集落活動センター等との連携強化
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュア合宿助成金（前期）の申請宿泊数増（8,180 人泊、対前年度比+513 人泊） ※H31.3 月に集計 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュア合宿助成金（前期）の申請宿泊数増（8,180 人泊、対前年度比+513 人泊） <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ①戦略的な誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> ・大阪等他都市への訪問協議が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ①戦略的な誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> ・県内スポーツ施設の利用状況の把握と誘致ターゲットの選定 ・競技特性を踏まえた効果的な誘致対策の検討 ②新たな合宿誘致や全国規模の大会の誘致 <ul style="list-style-type: none"> ・競技団体との連携強化 ③受入体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・市町村、集落活動センター等との連携強化
<p>【KPI の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数）1,500 人（5 大会） ※H30.12 月に集計 ・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500 人 ※H30.12 月に集計 <p><成果></p> <p>-</p> <p><課題></p> <p>ア サイクリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自転車活用推進法に基づく国土交通省のガイドラインが未設定のため、整備が遅れる可能性がある。 ②出展イベントの選定が必要（効果の大きいイベントの調査） ③参加者増に向けた大会の磨き上げが必要 ④集客増につながる取組の検討が必要（効率の良い集客方法等） ⑤4 県連携事業の協議が必要（開催方法などで課題がある） <p>イ サーフィン</p> <ul style="list-style-type: none"> ①サーフィン高知県知事杯の PR 強化が必要（ギャラリーなど） 	<p>ア サイクリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路課と連携したコース環境の整備 ②インフルエンサーを活用した PR 活動（招請、動画 UP 等） ③各イベント開催に向けた関係者との協議 ④イベントの開催 ⑤4 県連携サイクリングイベントの検討（サイクリングアイランド四国） <p>イ サーフィン</p> <ul style="list-style-type: none"> ①担当会の開催 ②サーフィン知事杯の開催

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組④】</p> <p>国内外で開催されるサイクリングイベントへの出展やサイクリング関連雑誌等での紹介などにより、県推奨のサイクリングコース（「ぐるっと高知サイクリングロード」）のプロモーション強化を行うとともに、四国一周サイクリングルートのプロモーションの実施や、県域を跨ぐサイクリングイベント等を開催します。【再掲】</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を生かしたスポーツツーリズムの推進（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かしたイベントによる新規入込者数（新規イベント数）1,500 人（5大会） ・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500 人 	<p>ア サイクリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「ぐるっと高知サイクリングロード」環境整備 <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングコース環境整備に向けた道路課との協議（随時） ②サイクリング観光のプロモーション強化 <ul style="list-style-type: none"> ・海外旅行会社及びインフルエンサーの招へいに向けた協議（タイ） ・SNS やパンフレットを活用した PR 活動（随時） ③県境をまたぐサイクリングの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・四万十・南予横断 2 リバービューライド担当者会（5/10） ・四国 4 県連携イベント担当者会（4/20）
<p>【取組⑤】</p> <p>高知龍馬マラソンなど、広域から誘客できる魅了あるスポーツ大会の県内での開催の拡充を図ります。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬マラソン（スポーツ課） <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 万人規模の大会継続 	<p>ア 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンラン種目に関する協議（4月～） ・他県大会の聞き取り調査（4月～） ・関係機関等との調整 <ul style="list-style-type: none"> 高知県社会福祉協議会（4/9） 帯屋町商店街（5/16） 県警（5/18）
<p>【取組⑥】</p> <p>2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会や 2019 ラグビーワールドカップなどの大規模なスポーツイベントにおける事前合宿を受け入れるとともに、国内外に本県を PR するため、来高した選手やメディアによる情報発信を積極的に行います。</p> <p><具体的な事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック東京大会事前合宿招致活動（スポーツ課） ※事前合宿招致活動を通じた情報発信を含む <p><取組の KPI></p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外スポーツ団体等による合宿 ・各種メディアによる情報発信数の増加（前年度比） 	<p>ア オリンピック・パラリンピック事前合宿招致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・覚書の締結 <ul style="list-style-type: none"> チェコオリンピック委員会（4/10） スポーツシンガポール（4/20） ・メール等による継続的な交渉（随時） <p>イ RWC2019（トンガ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー（ラトゥ氏）との協議（4/14、5/13、19） ・事前キャンプ実施の決定通知書手交（5/19） ・トンガ王国首相等の来高調整 ・招致委員会の設置に向けた検討 ②レガシーの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザー（ラトゥ氏）との協議（4/14、5/13、19）【再掲】 ・トンガコミュニティジャパン及びトンガ有識者との協議（5/13） <p>ウ 事前合宿招致活動を通じた取り組み（インフルエンサーを活用した情報発信）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・チェコオリンピック委員会公式 HP における高知県（覚書締結）の情報発信（4/16） ・チェコ観光協会 SNS「チェコへ行こう」における高知県（覚書締結）の情報発信（4/20） ・オランダ自転車デジタル雑誌「Soigneur」における県内自転車イベント（無限大チャレンジライド）の情報発信（4/26） ・チェコソフトボール協会公式 HP における高知県合宿の情報発信（5/7）

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を生かしたイベントによる新規入込者数(新規イベント数) 1,500人(5大会) ※H30.12月に集計 ・サイクリングイベントの県外参加者数 1,500人 ※H30.12月に集計 <p><成果></p> <p>-</p> <p><課題></p> <p>ア サイクリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自転車活用推進法に基づく国土交通省のガイドラインが未設定のため、整備が遅れる可能性がある。 ②出展イベントの選定が必要(効果の大きいイベントの調査) ③参加者増に向けた大会の磨き上げが必要 ④集客増につながる取組の検討が必要(効率の良い集客方法等) ⑤4県連携事業の協議が必要(開催方法などで課題がある) 	<p>ア サイクリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路課と連携したコース環境の整備 ②インフルエンサーを活用したPR活動(招請、動画UP等) ③各イベント開催に向けた関係者との協議 ④イベントの開催 ⑤4県連携サイクリングイベントの検討(サイクリングアイランド四国)
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬マラソン：1万人規模の大会継続 ※H30.10月に応募人数集計、H31.2月に参加人数集計 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会の開催に向けて関係者との調整・協議が順調に進んでいる。 <p><課題></p> <p>魅力ある大会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンラン開催に向けた関係機関との協議(交通規制や警備計画等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンラン開催に向けた関係機関との協議
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外スポーツ団体等による合宿 ※H30.9月に中間確認、H31.3月に最終確認 ・各種メディアによる情報発信数の増加(前年度比) ※H30.9月に中間確認、H31.3月に最終確認 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前合宿に向けた関係国との覚書の締結 ・海外メディア等による情報発信 <p><課題></p> <p>ア オリンピック・パラリンピック招致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入競技種目の決定 ・練習相手、施設の確保、必要な器材の調達 ・受入体制の強化 <p>イ RWC2019(トンガ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トンガチームの受入体制の構築 ・県民の機運醸成を図る取り組みの検討 ・トンガとの交流内容について <p>ウ 事前合宿招致活動を通じた取り組み(インフルエンサーを活用した情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・関係者への依頼 ②ホストタウンの取り組み等を通じた継続的な交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ交流(海外トップ選手等の地域スポーツイベントへの参加) <ul style="list-style-type: none"> ・関係者との継続的な協議が必要 ○文化交流 <ul style="list-style-type: none"> ・関係団体等との調整が必要 	<p>ア オリンピック・パラリンピック招致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受入競技種目の決定に向けたシンガポール及びチエコとの協議 ・県内競技団体やネットワークアドバイザーに支援を仰ぎ練習相手へアプローチする ・調整会議等におけるスポーツ施設の確保 ・必要な器材の調達案の作成 ・受入体制の強化に向けた関係機関等との協議 <p>イ RWC2019(トンガ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首相及びCEOによる高知県訪問の調整 ・招致委員会の設置(年度内) ・代表チームとの協議(必要備品の確認等) ・トンガ応援プロジェクトの継続実施(トンガ訪問によるラグビーボールの寄贈) ・アドバイザーの人脈を生かしたトップリーグや大学チームの合宿誘致 <p>ウ 事前合宿招致活動を通じた取り組み(インフルエンサーを活用した情報発信)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・選手等によるSNSを活用した情報発信 ・招へいする参加者のネットワークを活用したメディアによる情報発信 ②ホストタウンの取り組み等を通じた継続的な交流の促進 <ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ交流(海外トップ選手等の地域スポーツイベントへの参加) <ul style="list-style-type: none"> ・イベント事務局との協議による招へい者の活用方法の検討

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況
<p>【取組⑦】 スポーツツーリズムを中山間振興につなげるため、スポーツ合宿誘致等における集落活動センターの受入体制(宿泊・食の提供等)の充実や誘客の仕組みづくりを支援します。</p> <p><具体的な事業> ・集落活動センター推進事業(中山間地域対策課) 【再掲】</p> <p><取組のKPI> -</p>	<p>ア スポーツ合宿誘致等における集落活動センターの受入体制の充実支援 ・集落活動センター推進事業費補助金等による支援 集落活動センターであいの里端川、集落活動センターかきせ</p>
<p>【取組⑧】 高知龍馬マラソンにおいて、障害のある人や特別な配慮が必要な人も安心・安全に参加することができるよう多様性を重視した大会として、県内外、国外から多く参加者が集う魅力ある大会づくりを行います。</p> <p><具体的な事業> ・高知龍馬マラソン(スポーツ課)</p> <p><取組のKPI> ・1万人規模の大会継続</p>	<p>ア 高知龍馬マラソンの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンラン種目に関する協議(4月～) ・他県大会の聞き取り調査(4月～) ・関係機関等との調整 高知県社会福祉協議会(4/9) 帯屋町商店街(5/16) 県警(5/18)
<p>【取組⑨】 総合型地域スポーツクラブ等を各市町村のスポーツ活動の拠点(「地域スポーツハブ」)として育成し、地域のニーズに応じた公益性の高いスポーツ活動の展開を支援することにより、地域スポーツを通じたビジネス化の促進や地域におけるスポーツ活動の活性化につなげます。【再掲】</p> <p><具体的な事業> ・地域スポーツハブ展開事業(スポーツ課)</p> <p><取組のKPI> ・「地域スポーツハブ」設置数(設置目標4) ・促進委員会の開催(全5回予定) ※設置後に促進委員会にて地域のスポーツ資源やニーズについて情報共有を行い、各ハブで取組決定→KPIに反映</p>	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <p>①説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市(2/26、3/12、4/10、5/16) ・南国市(2/16、3/12、4/4) ・土佐清水市(2/28、3/12、4/16) ・四万十町((2/28、3/12、4/12、5/9) ・合同説明会(5/21) <p>②地域スポーツコーディネーターの配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐市(総合クラブとさ)(4/1) →促進委員会設置に向けた調整【県体協】(5/16)

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31目標値
県外からのスポーツによる入込客数	8万9千人		11万人
市町村で行われているスポーツイベント(大会)の数	271回		330回

C 取組の成果・課題・留意点	A 第2四半期以降の取組
<p>【KPIの状況】</p> <p>-</p> <p><成果></p> <p>-</p> <p><課題></p> <p>-</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センター推進事業員補助金等による支援
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知龍馬マラソン：1万人規模の大会継続 ※H30.10月に応募人数集計、H31.2月に参加人数集計 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会の開催に向けて関係者との調整・協議が順調に進んでいる。 <p><課題></p> <p>魅力ある大会づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファンラン開催に向けた関係機関との協議（交通規制や警備計画 等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンラン開催に向けた関係機関との協議
<p>【KPIの状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域スポーツハブ」設置数（設置目標4） ※H30.7月に確認 ・促進委員会の開催（全5回予定） ※H30.9月に中間確認、H31.3月に最終確認 <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・核となる総合型地域スポーツクラブや市町の関係者には、地域スポーツハブの設置・展開について概ね理解が得られている。 <p><課題></p> <p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域スポーツコーディネーターの配置など、早期に地域スポーツハブの展開に係る環境づくりを進める必要がある。 	<p>ア 地域のニーズに応じたスポーツ活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・促進委員会を開催するため、地域スポーツコーディネーターの確保や促進委員会の構成メンバーの確定、構成メンバーへの説明などを実施。 ・地域スポーツハブの立ち上げ ・促進委員会の開催 ・地域のニーズに応じたスポーツ活動の実施

基本方向 10 スポーツの振興を図る

対策 4- (1) オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツの振興

1 対策に位置付けた取組の実施状況

P 対策に位置付けた主な取組

【取組①】

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ2019大会の事前合宿の受入れや、ホストタウンの取組、オリンピック・パラリンピック教育などを実施することにより、同大会の機運の醸成を図るとともに、大会後のレガシーとして、世界レベルの指導者の招へいや、相手国との指導者や選手との交流などのスポーツ振興、来県する世界レベルの選手による県内体験型観光資源の磨き上げなどといった観光振興のほか、相手国の文化を学ぶ教育活動といった教育面の交流などにつながる取組を進めます。

<具体的な事業>

- ・オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業（保健体育課）
- ・オリンピック・パラリンピック東京大会事前合宿招致活動（スポーツ課）

<取組のKPI>

- ・海外スポーツ団体等の合宿や視察受入回数の増加（前年度以上）
- ・来県時等のスポーツ交流の増加（来県等により交流する団体数の増加）

D これまでの取組状況

ア オリンピック・パラリンピック事前合宿招致活動

- ・覚書の締結
チェコオリンピック委員会（4/10）
スポーツシンガポール（4/20）
- ・メール等による継続的な交渉（随時）

イ オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツ参加の拡大

(1) 事前合宿の招致活動を通じた取組

① 海外ナショナルチーム

- ・チェコ
ソフトボール男子U19（4/27～5/8）

② 日本代表チームの招致

- ・バドミントン日本代表合宿（3/30～4/6）

(2) ホストタウンの取り組み

① ホストタウン登録

- ・キルギス（4月新規登録）

(3) オリンピック・パラリンピック等に関連する取組

① オリンピック・パラリンピック等経済界協議会との連携

- ② 「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」（スポーツ庁委託事業）の実施【再掲】

「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」

- ・国との委託契約完了。オリンピック・パラリンピック教育推進事業に係る開催要項作成。

- ・トップアスリート夢先生派遣事業

- ・日本サッカー協会との業務契約締結済

ウ オリンピック・パラリンピック等を契機とした競技力の向上

(1) 事前合宿招致活動を通じた取組（合宿時における技術指導等）

① 海外ナショナルチーム

- ・チェコソフトボール男子U19の県内合宿期間中、県内男子ソフトボールチームと練習試合を実施（4/28～4/30、5/3～5/6）

② 日本代表チーム

- ・バドミントン日本代表合宿期間中、講習会を実施（4/5）

エ オリンピック・パラリンピック等を契機とした地域の活性化

(1) 事前合宿招致活動を通じた取組（インフルエンサーを活用した情報発信）

① 事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信

- ・チェコオリンピック委員会公式HPにおける高知県（覚書締結）の情報発信（4/16）

- ・チェコ観光協会SNS「チェコへ行こう」における高知県（覚書締結）の情報発信（4/20）

- ・オランダ自転車デジタル雑誌「Soigneur」における県内自転車イベント（無限大チャレンジライド）の情報発信（4/26）

- ・チェコソフトボール協会公式HPにおける高知県合宿の情報発信（5/7）

**対策
の
概要**

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会やラグビーワールドカップ 2019 大会の開催を好機と捉え、参加国の事前合宿の招致を通じて大会の機運の醸成を図るとともに、スポーツの振興や地域の活性化につなげる取組を行います。

C 取組の成果・課題・留意点

A 第 2 四半期以降の取組

【KPI の状況】

- ・海外スポーツ団体等の合宿や視察受入回数の増加（前年度以上）
※H30.9 月に中間集計、H31.3 月に最終集計
- ・来県時等のスポーツ交流の増加（来県等により交流する団体数の増加）
※H30.9 月に中間集計、H31.3 月に最終集計

<成果>

- ・2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会事前合宿に向けた関係国との覚書の締結
- ・海外スポーツ団体等との交流
- ・海外メディア等による情報発信

<課題>

- ア オリピック・パラリンピック招致活動**
 - ・受入競技種目の決定
 - ・練習相手、施設の確保、必要な器材の調達
 - ・受入体制の強化
- イ オリピック・パラリンピック等を契機としたスポーツ参加の拡大**
 - (1) 事前合宿の招致活動を通じた取り組み
 - ①海外ナショナルチームの県内合宿
 - ・ホストタウン登録国との交渉強化
 - ②日本代表チームの招致
 - ・競技団体との連携強化
 - (2) ホストタウンの取組
 - ②交流事業の開催
 - ・ホストタウン登録市町と連携強化
 - (3) オリピック・パラリンピック等に関する取組
 - ②「オリピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」（スポーツ庁委託事業）の実施
 - ・講師となる人材の不足。
- ウ オリピック・パラリンピック等を契機とした競技力の向上**
 - (1) 事前合宿招致活動を通じた取組（合宿時における技術指導等）
 - ①海外ナショナルチーム
 - ・海外チームと競技団体との調整が必要
 - ②日本代表チーム
 - ・競技団体を通じた日本代表チームとの調整が必要
 - ③大会後のレガシーとなる継続した交流
 - ・関係団体等との調整
- エ オリピック・パラリンピック等を契機とした地域の活性化**
 - (1) 事前合宿招致活動を通じた取組（インフルエンサーを活用した情報発信）
 - ①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信
 - ・関係者への依頼
 - (2) ホストタウンの取り組み等を通じた継続的な交流の促進
 - ①スポーツ交流（海外トップ選手等の地域スポーツイベントへの参加）
 - ・関係者との継続的な協議が必要
 - ②文化交流
 - ・関係団体等との調整が必要

ア オリピック・パラリンピック招致活動

- ・受入競技種目の決定に向けたシンガポール及びチェコとの協議
- ・県内競技団体やネットワークアドバイザーに支援を仰ぎ練習相手へアプローチする
- ・調整会議等におけるスポーツ施設の確保
- ・必要な器材の調達案の作成
- ・受入体制の強化に向けた関係機関等との協議

イ オリピック・パラリンピック等を契機としたスポーツ参加の拡大

- (1) 事前合宿の招致活動を通じた取組
 - ①海外ナショナルチームの県内合宿
 - ・チェコ
カヌー（11 月予定）
 - ・キルギス
レスリング（10 月予定）
 - ・オーストラリア
女子ソフトボール（10 月打診中）
 - ・オランダ
自転車（11 月打診中）
 - ②日本代表チームの県内合宿
 - ・ソフトボール女子日本代表合宿（11 月 26 日～12 月 4 日予定）
- (2) ホストタウンの取組
 - ②交流事業の開催
 - ・ホストタウン登録市町と県の連携を強化するための協議の場を設定
- (3) オリピック・パラリンピック等に関連する取組
 - ①オリピック・パラリンピック等経済界協議会との連携
 - ・同団体幹事企業との継続的な協議と事業実施
 - ②「オリピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」（スポーツ庁委託事業）の実施
 - ・日本体育大学、日本財団パラリンピックサポートセンター、高知県障害者スポーツセンター、県内の総合型地域スポーツクラブ等と連携した取組を進める。

ウ オリピック・パラリンピック等を契機とした競技力の向上

- (1) 事前合宿招致活動を通じた取組（合宿時における技術指導等）
 - ①海外ナショナルチーム
 - ・兼州女子ソフトボールチームの県内合宿の招致
 - ・チェコカヌーナショナルチームの県内合宿の招致
 - ・キルギスレスリングの県内合宿の招致
 - ②日本代表チーム
 - ・ソフトボール女子日本代表合宿（11 月 26 日～12 月 4 日）に向けた関係者との調整

P 対策に位置付けた主な取組	D これまでの取組状況

2 第2期高知県スポーツ推進計画における指標の状況

	H29	H30	H31 目標値
オリンピック・パラリンピック等を契機に、県民のスポーツに対する意識が高まり、大会後もスポーツの価値や魅力を通じた活力ある地域づくりが行われている。	-	-	-

C 取組の成果・課題・留意点

A 第2四半期以降の取組

- ③大会後のレガシーとなる継続した交流
- ・シンガポールスポーツスクールへの県内選手の派遣（7月23～29日）
 - ・オランダプロサッカーチーム指導者を招へいしたサッカー教室の開催（調整中）
- エ オリンピック・パラリンピック等を契機とした地域の活性化
- (1) 事前合宿招致活動を通じた取組（インフルエンサーを活用した情報発信）
- ①事前合宿等で訪れたトップアスリートやメディア等を活用した情報発信
- ・選手等による SNS を活用した情報発信
 - ・招へいする参加者のネットワークを活用したメディアによる情報発信
- (2) ホスタウンの取組等を通じた継続的な交流の促進
- ②スポーツ交流（海外トップ選手等の地域スポーツイベントへの参加）
- ・イベント事務局との協議による招へい者の活用方法の検討

